

特定非営利活動法人 よこはま里山研究所
第 21 期(2020 年 7 月～2021 年 6 月)通常総会
議案書

- ・第 1 号議案 第 20 期(2019 年 7 月～2020 年 6 月)事業報告
- ・第 2 号議案 第 20 期(2019 年 7 月～2020 年 6 月)決算報告
- ・第 3 号議案 第 21 期(2020 年 7 月～2021 年 6 月)事業計画
- ・第 4 号議案 第 21 期(2020 年 7 月～2021 年 6 月)予算

日時:2020 年 8 月 24 日(月)18:00～19:30

場所:はまどま(横浜市南区宿町 2-40-119)

第1号議案 第20期事業報告（2019年7月～2020年6月）

第20期は、新型コロナウイルス感染拡大による活動自粛や拡大防止対策のための定員削減等の影響を受け、全主催事業への参加者数はのべ2,369名と前期に比べ約8%減少した（第18期2,241名→第19期2,569名）。総参加者数は第11期から数え始め、これまで順調に増加してきたので、初めての顕著な減少となった。それでも、2020年4月～6月はほぼ活動が全面的に休止したことを踏まえると、影響は比較的小さく抑えられた。また、活動再開に当たって、NORAとしての基本的な考え方を整理し、すべての活動に共通する対応と参加者へのお願いを公表するなど、必要な対応・対策を講じた。

第20期の事業の中で特筆すべきは、2020年3月までに「はまどま」の内装改修と備品更新を実現できたことであろう。この勢いそのままに、4月からコーディネーターへの委託を開始し、運営の仕組みを段階的に整備していく予定だったが、コロナの影響により8月からへと変更を余儀なくされた。そのほかに、2019年8月から「はまどまオープン」が始まり、9月から「もったいないから竹細工」の活動日を1日増やし、11月から新企画「『食べもの通信』読者会」を始め、12月からはシリーズNORAサロンがスタートしたことなども、新しい取り組みであった。

収支については、予算対比よりは収入が減少したものの、受託事業が堅調なことから6期連続の黒字となった。もっとも、受託事業収入は事業完了後に遅れて入金されるので、コロナによる経営上の影響が大きく現れるとすると第21期になると考えられる。

近年は、地球規模の気候変動による影響のためか、異常気象・自然災害が頻発しており、野外で活動することの多いNORAにとっても、天候リスクへの対応が必要になっている。また、運営スタッフの平均年齢が高まっており、世代交代を図るための具体的な取り組みが必要となっている。

一方、2020年にNORAは設立20周年を迎える。国連が2030年を目標年として採択したSDGs（持続可能な開発目標）の達成に向けて、これからの10年間の方向性・中長期計画を考えるには適切な時期に当たる。これまでの活動をふりかえるとともに、NORAに集う人びと同志のコミュニケーションを高めて、SDGs時代・ウィズコロナ時代にふさわしい事業を構想していきたい。

自主事業

里山（樹林地や農地等）の保全・活用、里山と人をつなぐ活動

1. ヤマ事業

1) NORAの山仕事

川井特別緑地保全地区（旭区下川井町）において、「森の中で憩える空間」づくりを継続的におこなっている。第20期は2019年9月に襲来した台風19号による被害木の除伐作業に追われた1年だった。

毎月第2・第4日曜日の定例活動への参加者数は、雨天中止や新型コロナウイルス感染拡大の影響により、のべ212名（昨期311名）と昨年を下回った。それでも、「緑の募金」事業によって、活動に関わるメンバーが安全に作業をおこなうためのスキルアップ研修に参加できたのは収穫だった。また、定例活動以外に補足的に林内を整備する「やま守り編」は、旭高校の生徒やPTAの方々が緑地内でイベントを実施した効果があり、参加者数はのべ135名（昨期80名）と伸ばすことができた。

実施日	活動内容	参加者	スタッフ
7/28（日）	機械除草（第一植林エリア）、薪材加工	9	1
8/11（日）	機械除草（竹林）、薪材加工、ツル外し、林床整理	8	1
8/25（日）	機械除草（隣地遊歩道、第一植林エリア）	3	1
9/8（日）	薪材加工、間伐枝の集積	4	1

9/22 (日)	台風被害木の除伐	8	1
10/13 (日)	台風 19 号、被害木の除伐	11	1
10/27 (日)	台風被害木の除伐、ランク 2 研修・審査	17	1
11/10 (日)	若葉台搬出作業・剪定、機械除草(苗場エリア) 人力除草	9	1
11/24 (日)	蒔田エコサロンにてロープワーク研修	11	1
12/8 (日)	手工具研修	12	1
12/22 (日)	外周道路法面の除伐・除草、被害木の処理	23	1
1/12 (日)	外周道路法面の下草刈り、フェンス際流入土の除去	8	1
1/26 (日)	チェーンソー玉切り練習、ロープワーク研修	12	1
2/9 (日)	製材、土嚢づくり・設置、被害木の除伐、焼き丸太	9	1
2/23 (日)	製材、被害木の除伐、焼丸太づくり	10	1
3/22 (日)	資材置き場の移動・運材、製材、被害木の除伐	9	1
4/12 (日)	被害木の除伐、機械除草、人力除草	8	1
4/26 (日)	運材、被害木の除伐	5	1
5/10 (日)	薪割り	4	1
5/24 (日)	薪割り、機械除草(間伐エリア)	6	1
6/28 (日)	はまどまにてミーティング(雨天のため作業中止)	5	1

※7/14 (日)、3/8 (日)、6/14 (日) 雨天中止

191 21

【やま守り編】

実施日	活動内容	参加者	スタッフ
8/3 (土)	土留め植栽の草取り	1	1
8/6 (火)	機械除草(隣地遊歩道 第一植林エリア)	1	1
10/8 (火)	チップ化支援	6	1
10/9 (水)	チップ化支援	6	1
11/16 (土)	クリーンアップ day 昼食準備(ピザ 26 枚。焼きいも 70 本)	68	1
12/1 (日)	物置基礎ブロック施工	0	1
12/4 (水)	物置組み立て	1	1
3/5 (木)	長浜公園用の製材	2	1
3/11 (水)	太鼓落とし材の搬出	3	1
3/25 (水)	長浜トンボ池改修	2	1
4/4 (土)	収納庫の屋根作り、隣地草取り	1	1
4/7 (火)	隣地フェンス際 土壌除去	0	1
4/9 (木)	竹材の廃棄処理、ランク 2 審査向け練習	4	1
4/19 (日)	林地土留め植栽の草取り	0	1

4/23 (木)	はまどま廃材の焼却、丸太の皮むき	1	1
4/29 (水)	ソーチェーン目立て練習、竹すだれ加工	8	1
5/3 (日)	薪割り	4	1
5/7 (木)	資材置き場 屋根の補修	1	1
5/14 (木)	デッキ屋根養生、資材置き場屋根補修	4	1
6/11 (木)	焼き丸太材の運材、皮むき	2	1

115 20

2) 竹を活かす山仕事 (東京ガス「森里海つなぐプロジェクト」)

手入れが行き届かなくなった竹林は拡大し、農地や生活環境を侵食するなど、里山の景観に大きな影響を及ぼしている。竹林を手入れすることで畑を守り、里山生態系のバランスを保つために、原則月1回、中井町でお世話になっている農家と、その親戚が所有する民有地で竹林を整備した。

第20期は、「もったいないから竹細工」の事業収入によって運営費用を捻出できた。第19期に引き続き、活動日の午後に整備をおこなっている竹林の所有者から「竹林整備の心配が解消された」「筍が採りやすくなった」などと感謝の言葉をいただき、地域への貢献を実感できた。参加者数は、のべ65名(昨期124名)と、新型コロナウイルス感染拡大の影響のあるなか、リピーターの減少が目立った。

実施日	活動内容	参加者	スタッフ
7/21 (日)	竹の間伐、間伐材の搬出	4	1
8/18 (日)	竹の間伐、間伐材の搬出	5	1
9/15 (日)	竹の間伐、間伐材の搬出	5	1
10/20 (日)	竹の間伐、間伐材の搬出	6	1
11/17 (日)	竹の間伐、間伐材の搬出	8	1
12/15 (日)	竹の間伐、間伐材の搬出	8	1
1/19 (日)	竹の間伐、間伐材の搬出	5	1
2/16 (日)	竹の間伐、間伐材の搬出	5	1
3/15 (日)	竹の間伐、間伐材の搬出	6	1
6/17 (日)	竹の間伐、間伐材の搬出	3	1

※コロナの影響のため3/15(日)、4/19(日)は中止 55 10

3) よこはま里山レンジャーズ (連携: 認定NPO法人自然環境復元協会 (NAREC))

本事業は、里山保全活動を始めようとする主に若い世代と、活動支援を必要としている既存の活動団体をつなぐマッチングプログラムである。NARECの「レンジャーズプロジェクト」に登録したボランティア「レンジャー」(3,329名、2019年1月時点)に対し、受入団体と活動内容が調整された出勤要請メールが発信され、レンジャーはそのメールに返信するだけで希望する活動に参加できる。活動当日は10~20名程度のレンジャーが集まり、レンジャーズリーダーの誘導のもと受入団体の活動に参加するため、一人で参加する心細さがない。

8年目を迎えた第20期は、市内6か所のフィールドにおいて、9回のレンジャーズ派遣を予定した。天候に恵まれて雨天中止はなかったものの、コロナ禍により5-6月の開催が中止となり、7回の実施と

なった。参加者数は75名（昨期7回実施、63名参加）であった。

回	実施日	実施場所	受入団体	参加者
1	7/20（土）	新治の谷戸田	NPO 法人新治里山「わ」を広げる会	11
2	9/21（土）	桜ヶ丘緑地	桜ヶ丘・水辺のある森再生プロジェクト	10
3	10/26（土）	瀬上市民の森	瀬上さとやまもりの会	5
4	11/10（日）	恩田の谷戸	恩田の谷戸ファンクラブ	12
5	11/30（土）	瀬上市民の森	瀬上さとやまもりの会	9
6	12/22（日）	川井緑地	よこはま里山研究所	15
7	2/9（日）	瀬上市民の森	瀬上さとやまもりの会	13
	5/23（土）	新治の谷戸田	NPO 法人新治里山「わ」を広げる会	中止
	6/13（土）	元町公園プール	横浜にとんぼを育てる会	中止

75

4) 里山保全ボランティアの安全技能研修

（令和元年度「緑の募金」公募事業、協力：株式会社かんぼ生命保険）

里山保全活動ボランティアに対して、安全で楽しい活動を進めるために必要な知識や技術習得、またベテランボランティアの指導の見直しと指導能力向上などを目的に研修会を開催している。第17期から4年間にわたり研修を実施したことで、内容や方法について概ね確立できた。

第20期は、手道具による一連の伐木作業を習得することを一つのテーマにプログラムを組み立てるとともに、モリダスと連携によるFLCランク2相当の認定を受けられる仕組み作りもおこなった。さらに、労働安全衛生法で高所作業時のフルボディハーネスの着用が義務づけられたことから、これらに関する安全装備を購入するとともに使用方法の研修も取り入れた。この結果、NORAのヤマ仕事で活動するメンバーの多くが受講した。また、懸案であった安全管理マニュアルを作成し、川井緑地で活動する主要メンバーと共に安全研修を実施した。

回	実施日	実施場所	内容	参加者
1	11/24（土）	まいたエコサロン	ハーネス使用方法とロープワーク研修 （講師：塚本秀貴さん）	12
2	12/8（日）	川井緑地	手道具（ノコ・ナタ・カマ）の基本研修 （講師：松井一郎さん）	11
3	12/15（日）	川井緑地	手道具（ノコ・ナタ・カマ）の基本・審査会	10
4	1/26（日）	川井緑地	ロープワークによる手鋸伐木研修会 （講師：塚本秀貴さん）	10
5	6/28（日）	はまどま	里山保全活動における1日安全講習	6

※チェーンソーの基本動作とメンテナンスの研修は、コロナの影響により中止。

49

5) 山道具の安全使用（提携：株式会社シンコー）

株式会社シンコー社とサブ店契約を締結（2011年6月）して、チェーンソーメーカー（スチール STIHL）の二次代理店業務を担い、環境に配慮し、より安全性を高めた緑地保全活動用の機材使用の啓発をすすめている。第20期は、NORA会員、関係する森づくり団体や山仕事の参加者などへ、バッテリーチェーンソーなど環境と安全に配慮した物品類を供給することができた。実績としては、チェーンソー3台（内バッテリー式2台）、エンジンプロア1台等を販売した。

6) まちの近くで里山をいかすシゴトづくり

(協力：株式会社かんぽ生命保険、ファンケル「Happy エコルーレット」)

2016年にプロジェクトを立ち上げてから4年目となった第20期は、2020年代の環境NPOのあり方を考えるゼミ形式の連続企画と、里山の資源・空間をいかしたスポーツ・レクリエーションの可能性を考えるフォーラムを開催した。また、(株)ファンケルの寄付金を活用して、グリーンウッドワーク用の工具を購入した。イベントに関しては、モリダスとの共催事業と並行して進めたため、第20期の開催回数は3回にとどまり、のべ参加者数は38名(昨期148名)と減少した。2019年度をもって、フィランソロピーバンク(公益社団法人日本フィランソロピー協会)を通じた(株)かんぽ生命保険からの寄付が途絶えるので、自主財源によって定期的に事業を実施できるようにすることが必要となっている。

実施日	実施場所	タイトル	参加者 ゲスト	スタッフ
12/23(月)	文京シビックセンター	2020年代の環境NPOの仕事ゼミ第1回 「バックオフィス支援の最前線」	13	1
1/17(金)	地球環境パートナーシッププラザ	2020年代の環境NPOの仕事ゼミ第2回 「連携・グループ化と事業承継の可能性」	9	1
1/26(日)	多摩市立グリーンライフセンター	シゴトづくりフォーラム「スポーツ・レクリエーションと地域経済と環境保全の接点」	16	1

38

3

7) 安全で楽しい森林づくり活動を指導できるリーダー養成事業

(令和元年度「緑と水の森林ファンド」、主催：モリダス)

モリダスは、横浜・多摩地域で森林づくり・里山保全活動を実践してきた市民が、適切なメソッドを持って人材育成を図る必要性を感じ、NORAと既存の市民団体を横断するかたちで、2018年3月に設立したネットワーク型の任意団体である。NORAは、モリダス主催のリーダー養成事業を共催するかたちで緊密に連携を図っている。モリダスにとっては実質1年目であったが、参加者数はのべ58人を集めた。

これまでの事業の中心は、森づくり安全技術・技能全国推進協議会(FLC)の「森づくり安全技術・技能習得制度」の普及にあったが、2020年6月にFLCが解散したために、今後は独自で人材育成プログラムの開発・体系化、普及等を図っていく必要がある。

実施日	実施場所	タイトル	参加者	スタッフ
9/22(日)	新治里山公園	安全管理のためのコミュニケーション (講師：志賀壮史さん)	16	5
9/23(月祝)				
10/20(日)	川井緑地	森づくり活動レベルアップ研修 step1～手道具の使い方(講師：松井一郎さん)	9	5
10/27(日)				
1/9(木)-11(土)	技能文化会館 県民センター 新治里山公園	安全に木を伐倒するための知識と技術 ～FLCランク3学科・目立て (講師：水野雅夫さん)	学科9 目立て7	2
1/21(火)-22(水)				
3/20(金祝)	川井緑地	森づくり活動レベルアップ研修 step2～折れ曲がり線とツルづくり(講師：高澤愛さん)	10	5
3/21(水)				
3/23(金)	オルタナティブ生活館	動力機械を扱う講習会運営の情報交換会 (講師：寺川裕子さん・西川亜樹さん)	8	0

58

18

2. ノラ事業

1) 森と畑と音楽と

丹沢東麓に位置する厚木市の里山における活動で、2014年にスタートし今期で7年目を迎えた。活動の目的は農地管理が第一だが、参加者を増やすために「自然の中での様々な活動を通じて幅広い年齢層・異分野の人々が集い、有機的に結びつく空間の創造」を目標として、この土地に多くの人が関心を持ち、活動に来ることが楽しいと思える活動をおこない、持続するシステムをつくりたいと考えている。

第20期の特徴は、3点挙げられる。

- ①畑：昨年まで耕作していた畑の他にさらに1箇所5畝を耕作することになり、畑の耕作面積を3.5反と拡大した。それにより、栽培品目が野菜に限らず、コムギ・ソバ・ダイズ・タカキビなどの穀物栽培にも広がることになった。一方で管理に追われてしまう反省点があった。
- ②水田：米づくりを始めて4年目を迎えた。今期は市内在住の14家族42名を受け入れて、田植え、草取り、収穫（予定）の農作業体験をおこなっている。水田作業の省力化のため、紙マルチを導入したが、予想以上の効果で、7月現在雑草の繁茂はほとんど見られない。
- ③イベント：新型コロナウイルス感染拡大防止のため、マーケット等のイベントの中止が相次いだため出展できなかった。また、中学生の農作業体験受け入れも中止せざるを得なかった。一方で、地域の野外教育施設との連携を強化したため、体験の受託や生産物の消費など、安定した運営ができるようになった。

活動日は計56日（16期77日→17期72日→18期63日→19期37日）で、週1日程度のペースで活動をおこなったことになる。ここ数年スタッフの疲弊を考慮し、日数を減らして効率的な作業計画をおこなってきたが、19期よりも活動日数が増えた。これは、イベント準備と畑の規模拡大による管理作業の増大によるものである。のべ参加人数は326名（16期494名→17期367名→18期281名→19期258名）となった。近年、参加者数は減少傾向にあったが、地域の野外教育施設との連携や中高生の受け入れなどにより、20期は増える結果となった。また、収穫祭についても19期は参加者が40名程度であったのに対し、今期は70名を超えたことも要因である。昨期の反省点であった、ミニコンサートなど楽しめるイベント、他者と交流できる機会を増やしたので、今後も引き続きおこなっていききたい。

実施日		回	活動内容	参加数
7月	21(日)、31(水)	2	草刈り、草取り、収穫、BBQ	8
8月	6(火)、18(日)、 25(日)、27(火)	4	草刈り、草取り、収穫 中学生の農業体験受け入れ	23
9月	1(日)、14(土)、 21(土)、22(日)、 29(日)	5	草刈り、草取り、収穫、耕耘 トイドローンを活用した水田の空中写真撮影 中学生の農業体験受け入れ	15
10月	5(土)、6(日)、10(木)、 13(日)、20(日)、 27(日)	6	草刈り、野菜収穫、ソバの収穫 中学生農業体験(稲刈り)、近隣保育園の樹木伐採協力 稲刈りイベント(稲刈り、脱穀) 参加者48人	60
11月	2(土)、10(日)、 17(日)、24(日)、 30(土)	5	脱穀・粃摺り・精米、耕耘、ソバ脱穀、干し柿作り クラフト(木工)、BBQ、ミニコンサート 収穫祭準備(農産物タグ作り)	15
12月	6(金)、8(日)、15(日)、 21(土)、27(金)	5	収穫祭準備(キーホルダー用木材加工) 収穫祭(燻製・豚汁・おにぎり・焼き芋・焼きマッシュマロ・大学芋・クラフト・レーザークラフト・ミニコンサ	80

			ート・フリスビー教室) 参加者 76 人 野菜収穫、物置小屋設置	
1 月	13 (日)	1	耕耘、クラフト (木工)、ミカン収穫	4
2 月	8 (日)、16 (日)	2	BBQ、菜花とダイコンの収穫、堆肥を撒く、 クラフト (竹細工)	9
3 月	1 (日)、13 (金)、 15 (日) 22 (日)、 25 (水)、28 (土)	6	マーケット準備 (箸・スプーン作り)、 クローバーの種子散布、果樹周辺に防草シート敷き 野菜苗植え・種まき・収穫、耕耘、ツクシ採り 菜花収穫、小屋の解体	17
4 月	4 (土)、5 (日)、 17 (金)、19 (日) 26 (日)	5	耕耘機修理、水田耕耘、畦草刈り、セリ採り・料理 用水路清掃、果樹の株元にワラ敷き 製材した木材の整理	8
5 月	2 (土)、3 (日)、10 (日)、 14 (木)、17 (日)、 23 (土)、24 (日)	7	用水路清掃、水田耕耘、畦草刈り、畑耕耘、野菜・イチ ゴ収穫、菜種採り、クサイチゴ収穫、苗作り	15
6 月	6 (土)、7 (日)、9 (火)、 14 (日)、21 (日)、 28 (日)	6	草刈り、水の引き込み・田の畦塗り・代掻き、 畑耕耘・マルチ敷き、高校生田植え体験 (8 名)、田植 え体験イベント (親子・スタッフ 50 名)	72

56

326

持続可能な地域コミュニティづくり、暮らしの提案、イベントの企画・運営

3. ムラ事業

1) はまどまプロジェクト

「はまどま」発足後、2020 年 6 月で丸 12 年が経過した。街なかの里山の入り口、里山を暮らしに活かす実践の場として多様な企画を実現してきた。地域の皆さんの暮らしに役立つ場としても、宮宿花 1・2 丁目町内会、蒔田公園愛護会、大岡川アートプロジェクト「光のぷろむなあと」実行委員会などに参加し、信頼関係を積み重ねてきた。しかし、3 月から新型コロナウイルスの感染拡大、政府からの諸活動の自粛要請により「はまどま」での活動は休止することとなった。自粛要請解除となった 5 月末以降、新型コロナウイルス感染予防ガイドラインを策定し、活動の再開を目指してきた。

(1) NORA 野菜市

毎週火曜日 17～19 時、大和ビル駐車場にて、神奈川県内・生産者限定の野菜市として開催し、2019 年暮れに丸 15 年を迎えた。この間、2011 年に福島第一原子力発電所の事故による放射線汚染という重大な被害を経験し、2019 年には TPP/FTA (日欧貿易協定) が、2020 年 1 月には TPP を離脱したアメリカとの貿易協定が発効した。そして、世界的な新型コロナウイルス感染拡大である。

2019 年の日本の食糧自給率はカロリーベースで 38%。国が目標とする 2030 年の 45%には程遠い。農業の担い手の一層の高齢化による生産基盤の弱体化が、天候異変において表面化した。国連は、家族農業こそ食糧安全保障を確かなものにする「家族農業の 10 年」(2019～28 年)を策定した。将来にわたって持続可能な次世代につなげるべき農業は、世界の食糧生産の 8 割を担う家族農業だという。

生鮮野菜・果物は、政府が掲げた自給目標の 8 割でしかなく、調理済みを購入する人が増える傾向にあり、その中で輸入野菜が使われる可能性が高い。それでも、近年の NORA 野菜市は、子育て家庭の利用が増加している。新型コロナウイルス感染拡大の中でも、生活に必要な物資を供給する立場で、感染予

防を心がけながら生産者とともに野菜市を継続できた。しかし、生産者とともに支援してきた「こども食堂」（南区内3か所）は再開の見通しが立たない。

(2) 生産者の心とともに季節を味わう神奈川野菜の食事会

「はまどま」ができる以前の2005年12月から、ほぼ毎月1回定例開催を続けてきた「神奈川野菜の食事会」。東京一極集中が止まらない首都圏にあって、神奈川の農業の魅力を多くの人に知ってもらいたい。安心・安全な作物を育むことができる神奈川の自然環境を、生産者とともに次世代につなげたいという思いで続けてきた。新型コロナウイルス感染拡大によって活動が休止となったが、これからの時代に求められる食事会の在り方を模索している。第20期の参加者数はのべ53名（昨期62名）だった。

回	実施日	内容	参加者
23	7/6（土）	トマトスープ、果物コンポート、かぼちゃの肉詰め	9
24	9/7（土）	栗ごはん、夕顔と豆腐、小松菜の味噌汁、そうめん南瓜	12
25	10/5（月）	新米「はるみ」、きくらげとナスの味噌汁、穂紫蘇オリーブ漬	9
26	11/2（土）	しょうがご飯、金時草、甘長唐辛子、台湾山芋など天ぷら	7
27	12/7（土）	キノコご飯、白菜と豚肉スープ、カブと柿のサラダ	8
28	1/18（土）	里芋のあんかけ汁、生姜と椎茸ご飯、蜜柑キウイ粉茶の寒天	5
29	2/1（土）	揚げ餅、春菊・カリフラワー・大根の天ぷら、菊芋など酢の物	3

53

(3) もったいないから竹細工（東京ガス「森里海つなぐプロジェクト」）

里山では手入れされない竹林が生い茂り、邪魔物として扱われている。かつて有用だった竹を生かさないのはもったいないので、竹林整備の際に出てくる竹材を有効に生かすために竹細工を製作している。

毎月第2土曜日開催の竹かご教室では、講師に指導を受けながら全10回で六つ目編みを基本とした竹かご5作品をつくる。第1水曜・第3木曜・第4月曜・第4土曜日開催の竹細工工房では、竹かごを編むための竹ひごの準備のほか、竹へら・菜箸・パスタフォークなど（カトラリー）、さまざまな食器もつくっている。竹細工工房の実施日を9月から1日増やし（第4月曜日）、参加者を分散化させてキャンセル待ちを解消するとともに、アドバイザーのスキルアップを図った。

第2土曜日午前開催のいちねん坊主工房では、前期5回・後期5回の実施を予定していたが、コロナの影響から後期の実施が事業年度をまたぐことになり、第21期の見通しは立っていない。

参加者数は、竹かご教室のべ141名（昨期177名）で、いちねん坊主工房のべ45名、竹細工工房のべ417名（昨期471名）、合計の参加者数は603名（昨期648名）となった。第20期から、参加2回目以降のリピーターの方には、一般会員として入会いただくことにした結果、67名の新規会員を集め、年会費201,000円をはまどま運営費へ補填することができた。

コロナ対策により、4月～5月は事業を休止し、緊急事態宣言の解除後は、3密を避けるために定員を半分に抑えて事業を再開した。その結果、参加者数や参加費収入が減少し、21期の年会費収入も減少が見込まれることから、事業の継続化に課題が発生している。

【竹かご教室】

実施日	活動内容	参加者	スタッフ
7/13（土）	竹かご作り	13	3
8/10（土）	竹かご作り	13	3

9/14 (土)	竹かご作り	13	3
10/12 (土)	竹かご作り	11	3
11/9 (土)	竹かご作り	10	3
12/14 (土)	竹かご作り	12	3
1/12 (土)	竹かご作り	12	3
2/8 (土)	竹かご作り	12	3
3/14 (土)	竹かご作り	10	3
6/8 (土)	竹かご作り	5	3

※4/11 (土)、5/9 (土) はコロナ対策のため活動休止 111 30

【竹細工工房】

実施日	参加者	スタッフ	実施日	参加者	スタッフ
7/3 (水)	11	3	12/19 (木)	13	3
7/18 (木)	12	3	12/23 (月)	7	1
7/27 (土)	13	3	12/28 (土)	11	3
8/7 (水)	12	3	1/8 (水)	13	2
8/15 (木)	15	3	1/16 (木)	11	3
8/24 (土)	14	3	1/25 (土)	13	3
9/4 (水)	13	3	1/27 (月)	8	1
9/19 (木)	12	3	2/5 (水)	11	2
9/23 (月)	7	3	2/20 (木)	11	3
9/28 (土)	15	3	2/22 (土)	12	3
10/2 (水)	10	3	2/24 (月)	6	1
10/17 (木)	12	3	3/4 (水)	6	2
10/26 (土)	12	3	3/20 (木)	10	0
10/28 (月)	5	1	3/23 (月)	3	0
11/6 (水)	11	2	6/3 (水)	6	2
11/21 (木)	10	3	6/18 (木)	6	3
11/23 (土)	8	3	6/22 (月)	3	1
11/25 (月)	8	0	6/27 (土)	8	3
12/4 (水)	11	2		341	76

※3/28 (土) ~5/25 (月) 9 回分の活動休止

【いちねん坊主工房】

実施日	活動内容	参加者	スタッフ
8/10 (土)	ござ目編み、手提げバックづくり (前期)	6	1

9/14 (土)	ござ目編み、手提げバックづくり (前期)	5	1
10/12 (土)	ござ目編み、手提げバックづくり (前期)	5	1
11/9 (土)	ござ目編み、手提げバックづくり (前期)	5	1
12/14 (土)	ござ目編み、手提げバックづくり (前期)	5	0
1/12 (土)	ござ目編み、手提げバックづくり (後期)	4	2
2/8 (土)	ござ目編み、手提げバックづくり (後期)	2	2
3/14 (土)	ござ目編み、手提げバックづくり (後期)	1	1
6/8 (土)	ござ目編み、手提げバックづくり (後期)	1	2

※4/11 (土)、5/9 (土) はコロナ対策のため活動休止 34 11

(4) はまどまで土間仕事

今期も川口糰店さんを招いて味噌作りを開催した。毎年この日を楽しみにしてくださる方がいらっしゃる限り、続けていきたい。2020年の4月にも開催を予定していたが、コロナの影響により中止した。今期はなかなか開催に繋がれなかったが、今後は動画等も用いて、手仕事の良さを伝えていきたい。

実施日	内 容	参加者	スタッフ
11/24 (日)	川口糰店さんと味噌作り～大豆&米糰	27	2
6/2 (火)	緊急らっきょうを仕込む	2	1
		29	3

(5) 里山の恵み・伝統文化と出会う上映会 (共催：郷土映像ラボラトリー)

民族文化映像研究所に約130本ある記録映画を中心とした上映会で、「郷土映像ラボラトリー」(中川美帆さん主宰)との共催により今期はほぼ2か月に1回開催した。コロナの影響により3月以降は休止したが、そもそも集客に課題がある点は克服できていない。

実施日	作 品	参加者	スタッフ
7/29 (月)	『平方のどろいんきょ』	3	1
9/30 (月)	『竹に暮らす』	10	1
11/25 (月)	『埼玉の木地師』	2	1
1/27 (月)	『山に生きるまつり』『青海竹のからかい』	6	1

※3月以降、休止 21 4

(6) NORA サロン

2020年にNORAが設立20周年を迎えることから、2019年12月からシリーズ「NORAびとが語るNORAサロン」を開催している。これは、約2か月に1回、理事が持ち回りで話題提供するNORAサロンで、その場の議論を中長期計画に生かそうとするものである。なお、中長期計画の目標年は、SDGs(持続可能な開発目標)の目標年に合わせて2030年を想定している。コロナの影響により、初めてオンラインでの参加受付・参加費徴収(EventRegist)、動画配信(Zoom)を試みた。

実施日	実施場所	タイトル	参加者
8/17 (土)	新治里山公園	出張NORAサロン『人間里山主義』読書会 (ゲスト：富永一夫)	4

12/11 (水)	はまどま	「横浜の農と森、新治の公園づくりに関わって」 (話題提供：吉武美保子)	7
1/25 (土)	田園都市生活 シェアハウス	「いしだのおじさんの田園都市生活」 (話題提供：石田周一、ゲスト：大江正章)	14
6/27 (土)	オンライン Zoom	「松村正治×松村正直一家族・社会・場所・歴史・表現」	31

56

(7) 『食べもの通信』読者会

1970年創刊の『食べもの通信』(家庭栄養研究会の会報)は、2020年に創刊50周年を迎える月刊情報誌である。さまざまな情報が溢れる中で、信頼度の高い新しい情報を少しずつ学び合う場を作りたいと考え、2019年11月から読者会を開始した。この読者会の情報は、『食べもの通信』の案内欄に「NORA読書会」として毎号に掲載されている。3月以後、コロナの影響により活動を休止している。

回	実施日	内容	参加者
1	11/11 (月)	食用油の最新情報、脱プラスチック生活	4
2	12/9 (月)	天然醸造味噌の効能、絶対に避けたい添加物	6
特別	12/23 (月)	ミツロウで手づくりエコラップづくりWS	11
3	1/13 (月)	化粧水づくり、輸入自由化と食の安全・農業崩壊	6
4	2/10 (月)	家族農業の10年、アルコールの付き合い方	5

32

(8) はまどま諸々

会員が主体的に得意なことを教えたり、興味のあることを参加者と学び合ったりする活動である。

①季節の素材でワンプレートメイキング (山本美香会員)

第20期は季節ごとの開催を予定していたが、2月はコロナの影響により中止した。山本会員が、その時期に美味しい神奈川県野菜をふんだんに使ったメニューを提案し、その場で野菜を購入するという流れも作ることができた。これまでは、ある程度まで作ったケーキを用意しておき、参加者の皆さんに手を加えていただいていた取り分ける方式だったが、コロナ対策のために今後は各自の皿の上で仕上げすることを徹底する。季節ごとの「美味しい」を味わっていただく姿勢は変えずに。

実施日	内容	参加者	スタッフ
8/6 (火)	夏編：わらびもちを作ろう！	5	1
10/31 (木)	秋編：ハロウィンパフェ、南瓜ケーキ他	5	1
12/18 (火)	冬編：クレープでブッシュドノエル他	5	1

15

3

②お香のてならい (粕谷恵会員)

毎月2回、金曜日夜に継続的に開催する中で、常連の方もいらっしゃる。

実施日	内容	参加者	スタッフ
7/12 (金)	塗香	2	1
7/19 (金)	匂い袋	2	1

8/9 (金)	塗香	1	1
9/13 (金)	塗香	1	1
10/25 (金)	練香	1	1
11/8 (金)	コーン型お線香	1	1
2/14 (金)	お線香	1	1
3/13 (金)	匂い袋	1	1
		10	8

③心も体も元気に季節の薬膳食事会 (内倉和子会員)

季節の野菜や素材をふんだんに使い、家でも手軽に作ることができる体の養生メニューを展開している。食べるだけ参加する人も増えてきた。コロナの影響により、開催を予定していた4月は中止した。

実施日	内容	参加者	スタッフ
8/25 (日)	薬膳カレー、長芋とオクラの和え物ほか	7	2
10/27 (日)	サンマ紅花ご飯、山芋の茶巾蒸しほか	5	2
12/7 (土)	薬膳でクリスマスメニュー	3	1
2/16 (日)	よもぎご飯、鶏とエビの杜仲スープほか	4	1
		19	6

④そのほか

今期は、そのほかの開催数が少なかった。これまでは食事系の催しが多かったので、コロナの影響を踏まえ、今後の企画はスタイルを変えた開催も視野に入れていくとともに、自主企画を試してみたい人の場としても開いていきたい。

実施日	内容	外部講師	参加者	スタッフ
7/20 (土)	神奈川野菜でトルコ料理を作ろう	大濱裕美さん	6	2
7/21 (日)	神奈川野菜でトルコ料理を作ろう	大濱裕美さん	12	1
			18	3

2) はまどま改革

はまどまプロジェクトを持続的に実施していくには、一部の会員による献身ではなく、有志が気持ちよく支え合えるように空間の設えや運営の仕組みを変えていく必要がある。そこで、「街なかの里山の入口」としての位置づけを確認したうえで、これまで以上に「はまどま」を地域に開き、地域住民が気軽に立ち寄れる居場所であり、社会参加できる場へと変革を求めることにした。

2018年2月に「はまどま寄り合い会議」を設置して地域の方々から意見を伺い、さらに「よこはま夢ファンド」を通じた寄付金を活用して、2020年3月までに内装改修と備品更新を実現できた。4月からは、コーディネーターへの委託を開始し、運営の仕組みを段階的に整備していく予定だったが、コロナの影響により8月開始へと変更した。

(1) 改修工事 (横浜市市民活動推進基金「よこはま夢ファンド」)

前期に実施した壁・床・天井リフォームに引き続き、室内空間の改修をおこなった。寄り合い会議で出された「地域の方が気軽に立ち寄りやすい空間づくり」を目指し、建築士荒川氏に改修プラン提案を依頼。スチールロッカーなど圧迫感のある家具を断捨離、書籍類は整理、備品等は新たに設置した収納

庫へ集約した。収納庫の間仕切り等は、川井緑地の発生材を活用した。ディスプレイ棚を設置し、竹細工作品等の魅せる収納で壁面を有効利用。視覚的な素材感を統一することで、スッキリとした居心地の良い空間を実現した。厨房は家具の入れ替えて作業しやすい動線を確保し、エリアを仕切り、手洗いを増設することで衛生管理機能向上を図った。これらの改修により、オフィス感が強く里山を感じられない、煩雑で居心地が良くない、厨房の使い勝手が悪い等の長年の懸案が解消された。看板・ショーウィンドウ等の外構部については、来期以降に検討を予定している。

(2) はまどまオープン（横浜市市民活動推進基金「よこはま夢ファンド」）

第2・第4水曜日の早朝6時半～昼頃まで「はまどま」を開き、ラジオ体操帰りが蒔田公園を歩く会の皆さんの休憩場所として利用していただいた。facebookやメルマガ等のほか、近隣にチラシをまいて広報に努めた。隣のこだま舎さんが朝市を同時に開催するようになると、立ち寄ってくださる方が現れた。睦地域ケアプラザ主催の「コーヒー淹れ隊」の参加も心強く、一気に参加者が増えた。しかし、コロナの影響により4月以降は開催を休止した。来期は9時からのオープンとなるが、さらに参加者を増やす工夫をしていく必要がある。

実施日	特記すべき内容	参加者	スタッフ
8/14（水）		6	2
8/28（水）	※こだま舎、同じ時間に朝市を始める。	4	2
9/11（水）		6	2
9/25（水）	常備菜 WS 開催	6	2
10/9（水）		4	2
10/23（水）		9	2
11/13（水）	神奈川野菜を実験的に販売	7	2
11/27（水）		5	2
12/11（水）		5	2
12/25（水）	水曜歩こう会のメンバー参加	14	2
1/22（水）	コーヒー淹れ隊（睦ケアプラ主催）	45	2
2/12（水）		13	2
2/26（水）		10	2
3/25（水）	蒔田公園で出張はまどまオープン	多数	2
※3/11（水）中止、4月以降休止		134	28

3) 地域連携

- ・横浜市南区内の3か所の「こども食堂」に、生産者から無料提供をお願いした作物を提供。保存のできない生鮮農産物は、味や栄養の点でも貴重。全国4,000か所近くにまで「こども食堂」は広がっているが、神奈川は東京、大阪に次いで多く、約300か所弱だという。
- ・8/17（土）-18日（日）、宮宿花1・2丁目町内会盆踊り大会。毎回、流し素麺用の真竹を提供してきたが、今回から業者からレンタルすることになった。作業中の怪我がきっかけのこと。
- ・10/27（日）、宮宿花1・2丁目町内会主催「ハロウィンパーティー」に参加。蒔田公園のエコサロンで受け付けして、子供たちは町内有志店舗などを回り、町内会が用意したお菓子をもらう。天候に恵まれ60組が参加したという。「はまどま」に飾りを付け、仮装して子どもたちを迎えた。「はまどま」を町内の特に若い世代に親んでもらう取組み。
- ・11/17（日）、フォーラム南太田まつりに「野菜市」で参加（スタッフ3名）。

- ・12/14（土）-15（日）、「光のぷろむなあど」に伐り出した真竹で造形物をつくり、ワークショップや紙芝居・民話の語りなどを披露するかたちで、夜の光のまつりへの参加。14日は飲食ブースにも出店した（ポタージュスープ2種）。前日準備5名、14日9名、15日5名が参加した。
- ・12/26（木）、子之神社（南区堀之内）境内の掃除、焼き芋用サツマイモを提供し、好評だった。
- ・新型コロナウイルスの影響により、3月恒例の子ども会お楽しみ会（絵本読み聞かせ、紙芝居、民話の語りで参加予定）から中止。蒔田小学校の放課後キッズクラブや、老人ホーム（サニーステージ）での紙芝居等も再開できない。
- ・「子ども食堂」も中止となり、その後も再開が困難な状況に陥った。従来の支援に代えて、コロナ禍を共に生き抜こうと生産者の協力のもと、廉価な「お楽しみセット」の販売を始めた。さらに、「子ども食堂」の運営メンバーが500円で弁当を購入し200円で販売する活動に、「お楽しみセット」毎週、約20セット分の売上を寄付することにした。

4) ネットワーク

(1) まいたエコサロンの会

地域の環境活動拠点として横浜市と構成団体が協働して運営に関わっている。第20期は、里山保全ボランティアの安全技能研修の開場として1回利用した。

(2) 横浜コミュニティカフェネットワーク（YCCN）

地域の人が集まるところにコミュニティカフェがあるが、コロナの影響により存続すら危ぶまれた時期には、ZOOM等オンラインで助成金などの情報が頻繁にやり取りされた。YCCNメンバーの中では、閉店するというような声は聞こえてこない。

4. ハレ事業

1) 伊勢佐木町地モノ市

11月10日（日）、伊勢佐木町6丁目の第19回エコ・イセザキ「エコイベント&地モノ市」（主催：伊勢佐木町商店街・エコ委員会、後援：中区役所）に参加した。2005年夏に初参加以来、夏は酷暑となってやらなくなったが、毎年ほぼ11月初旬に開催している。年々、規模は縮小傾向だが、6丁目の有志店舗が参加して、100円分の農産物引換券を商店街のお客様にプレゼントする。引換券を持って多くのお客様が来店して下さる。年に1回の開催でも、毎年楽しみにして下さるお客様が多くなった。前日準備にスタッフ8名、当日スタッフ10名が参加した。

里山の生物-文化の多様性保全に資する普及啓発、情報発信

5. イキモノ事業

1) 旬の里山探訪

毎月第1水曜日（1月・8月は休み）、NPO法人新治里山「わ」を広げる会の新治里山公園運営プロジェクト（実施主体は、自然観察／インタープリテーション部会）が「にいほる里山交流センター」で実施しているイベントへ広報協力をおこなっている。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3月から活動を自粛した。

実施日	内容	参加者	スタッフ
7/3（水）	三保市民の森でシダ観察	24	3
9/4（水）	挑戦！ハチの仲間を知ろう	25	3
10/2（水）	きのこの観察	25	6

11/6 (水)	追分・瀬谷市民の森めぐり	15	10
12/4 (水)	森の恵みで小さな壁飾りを作ろう	12	4
2/5 (水)	野鳥の観察	27	3
3/4 (水)	早春の芽生え	中止	
4/1 (水)	新治市民の森の頂ひとまわり	中止	
5/6 (水)	鎌立～常見谷戸ひとまわり	中止	
6/3 (水)	川和・池辺市民の森歩き	中止	
		127	29

2) トンボはどこまで飛ぶかフォーラム

2003年に活動を開始した当フォーラムは、京浜臨海部において生物多様性に配慮した緑地の質の向上を目的に、企業・市民団体・行政・専門家が参加する集まりで、NORAは2015年1月から参加している。第20期は、夏のトンボ調査等に参加したほか、本牧市民公園、根岸森林公園、富岡総合公園、長浜公園において6月～10月にかけて指定管理者が主催する「トンボとり大作戦」の運営を担った。「トンボとり大作戦」への子どもの参加者数とマーキングされたトンボの数は下表のとおりである。

調査場所毎の参加者数

調査場所	6月	7月	8月	9月	10月	合計
本牧市民公園	10	中止	13	13	中止	37
根岸森林公園	14	2	9	23	9	57
富岡総合公園	3	8	5	22	5	43
長浜公園	中止	7	10	8	5	30
合計	27	17	37	66	19	167

捕獲・マーキングされたトンボの数

6月	7月	8月	9月	10月	合計
0	中止	49	79	中止	128
0	13	14	48	5	80
13	21	31	25	53	143
5	20	42	7	10	84
18	54	136	159	68	435

※6月は第19期

3) 第30回全国トンボ・市民サミット横浜大会

当サミットは、「トンボ生息地の保全や復元」「自然環境保護」「自然を通じた教育」「自然と環境を活かしたまちづくり」などのテーマで、地域を替えて毎年開催されている大会であり、2019年9月7日(土)～8日(日)に10年ぶりに横浜で開催された。NORAは、横浜大会の実行委員として企画運営にかかわり、7日のエクスカージョンではフィールドの案内(新治里山公園、本牧市民公園、長浜公園)に協力した。また、8日の本大会では、第2分科会「多様な主体による地域環境の保全の運営」および第3分科会「横浜のトンボ 今・昔」のコーディネーターなどを担った。実行委員会の発表によると、参加者は以下の通りであった。

9/7(土) エクスカージョン(北コース50名+南コース54名)、交流会約90名

9/8(日) 本大会(本郷台あーすぷらざ)約270名参加

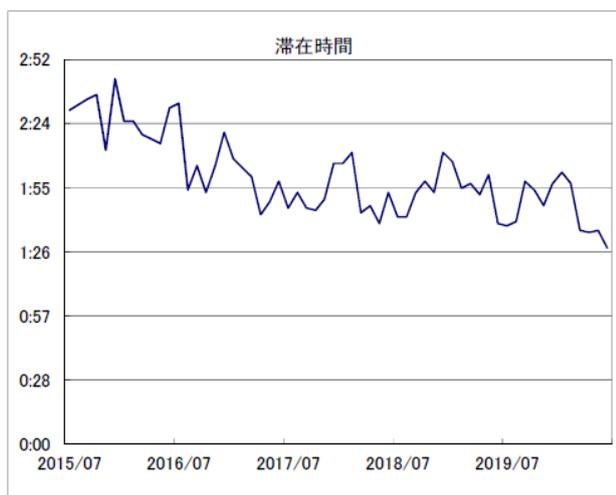
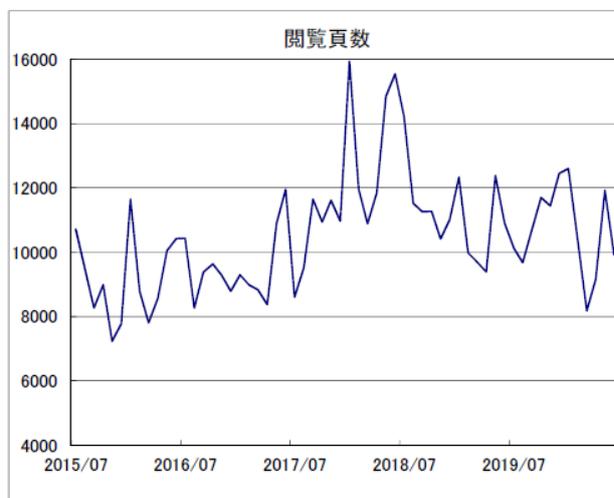
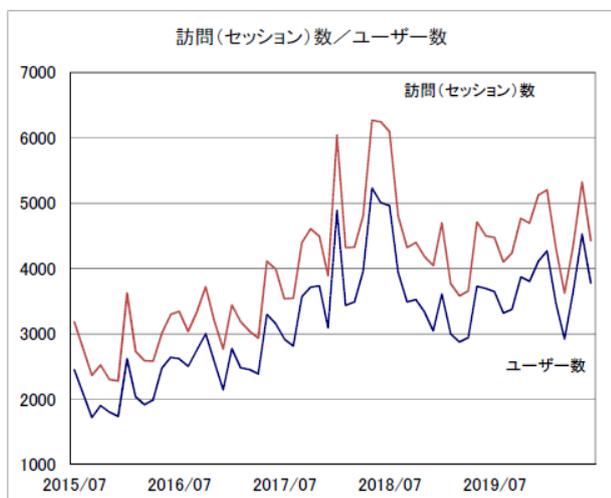
6. 広報事業

1) ウェブサイトの更新

第20期も、イベントの告知・報告記事など情報発信を定期的におこなった。訪問数は月平均3,727(第17期3,342→第18期4,707→第19期3,511)となり、里山ガーデンの影響を強く受けた第18期を除けば、ここ数年は横ばい状態にある。閲覧頁数(ページビュー)は10,690(第17期9,507→第18期12,027→第19期11,199)とやや減少傾向にある。毎月、メールマガジンと連動するプロジェクトの告知記事、コラムの更新は順調であるが、報告記事の更新は滞りがちなため、閲覧頁数の減少に繋がって

いると考えられる。滞在時間は減少傾向、直帰率は増加傾向にあり、情報発信に工夫の余地は大きい。

その他の今期の取り組みとして、2020年4月からサイトの保守点検について、これまで管理をお願いしていた方と年間契約を交わしたことがある。その後、セキュリティ向上のため、Wordpress のバージョンアップ (4.x 系→5.x 系) を実施したほか、今後は常時 SSL 対応 (https 化) も予定している。



2) 「里山と暮らしをつなぐメールマガジン」配信

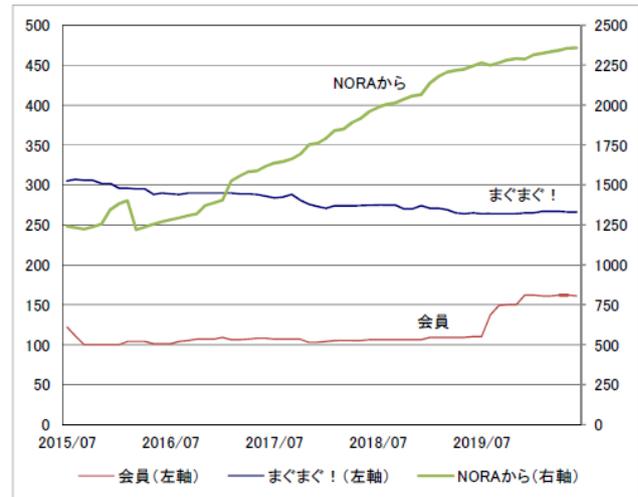
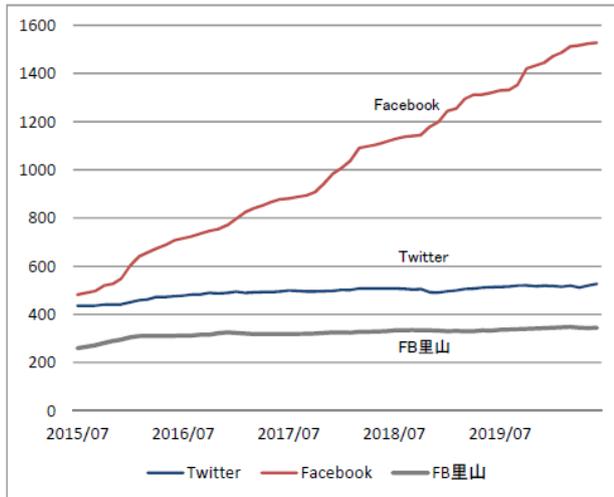
原則、毎月1日に「里山と暮らしをつなぐメールマガジン」を配信した(第134~145号)。第20期末の時点で、会員宛て(161)には会員メーリングリスト経由で配信し、事務局が把握している会友・関係者(2,358)には直接メールを送信している。また、メルマガ発行サービス「まぐまぐ!」でも配信しているが、読者数(266)は横ばいである。毎月、約2,7000アドレスに情報を配信しており、日別サイト訪問数はメルマガ配信後に毎月急増することから、依然として重要な広報媒体となっている。

また、第20期に取り組んだこととして、これまでのバックナンバーをサイト上にすべて掲載したことがある。その際、事務局側で紛失していた創刊号と第2号の原稿を、保存していた会員の厚意により収集できたことを付言しておく。なお、従来から会友・関係者にはBCCでメルマガを配信していたが、セキュリティ強化のため、来期の早い段階からメール配信サービスを利用する予定である。

3) ソーシャルメディアによる情報発信

第20期末のSNSのフォロワーは、Facebookが1,528(第17期878→第18期1,116→第19期1,320)

と増加したが、Twitterは527(第17期499→第18期507→第19期514)と微増にとどまった。Instagramのアカウント(nora_yokohama)を取得したが、情報発信が滞りがちでフォロワーは74である。



4) 年間報告書の作成

「2019年活動報告」(A4、三つ折り)を作成し、会員・会友へ配布した。「はまどま改革」を中心に、自主事業など1年間の活動を紙面で報告するとともに、年越し前に年会費振込みを促した。

協働・受託事業

里山に関する調査研究・コンサルティング・人材育成・講師派遣等

1) 保育所・小中学校等ビオトープ整備のアドバイザー派遣 (横浜市環境創造局みどりアップ推進課)
 <実施期間: 2019年5月~2020年2月、2020年4月~2021年3月>

2019年度は、当該事業でビオトープ整備を実施した小学校17校に対してフォローアップをおこない、ビオトープの維持管理・活用方法、ビオトープ整備方法等について指導した。

また、新規にビオトープ整備を行った小学校11校(新規10校、継続1校)を訪問し、ビオトープ整備にかかる計画づくり、整備方法等について助言をおこなった。2020年度も引き続き、市内小学校等に対してビオトープ整備に関する助言を実施する。

2) 長浜公園トンボ池等管理業務 (公益財団法人 横浜市緑の協会)

<実施期間: 2019年4月~2020年3月、2020年4月~2021年3月>

2019年度は、長浜公園(横浜市金沢区)のトンボ池、水田等の市民を対象とした環境啓発、生物の生息空間の保全・創造のためのトンボ池等の日常管理、富岡総合公園でトンボ取り大作戦の運営をおこなった。2020年度は、引き続き、トンボ池や水田の適正管理、啓発事業として田植え体験や小学校の授業でのヤゴ救出の実施、「トンボとり大作戦」をとおした生き物調査などをおこなっている。

3) 野島公園ビオトープ水路環境調査 (公益財団法人 横浜市緑の協会)

<実施期間: 2019年4月~2020年3月、2020年4月~2021年3月>

2019年度は、観音崎博物館が実施する水生生物調査と連携したビオトープ池の環境管理を実施した。2020年度は、引き続きビオトープ池の管理を実施する。

4) 本牧市民公園、根岸森林公園トンボとり大作戦開催業務 (横浜植木株式会社)

＜実施期間：2019年6月～2019年10月、2020年6月～2020年10月＞

子どもたちにトンボとりを体験してもらい、くらしと街中での生きものとのつながりを認識してもらうため、本牧市民公園と根岸森林公園で毎月1回トンボとり大作戦の運営を実施する。

5) 森づくりボランティア派遣及び体験事業業務委託（横浜市環境創造局みどりアップ推進課）

＜実施期間：2019年6月～2020年3月、2020年4月～2021年3月＞

森を育む人材育成事業に登録された森づくりボランティアの活動推進と既存の活動団体の活性化を目的に、森づくり活動団体の活動へ森づくりボランティアが参加する「森づくり体験会」の企画、運営、参加者指導等の業務を実施した。

6) Green Gift 地球元気プログラム（NPO法人日本NPOセンター、東京海上日動火災保険株式会社）

＜実施期間：2019年10月～2020年9月＞

東京海上日動火災（株）が全国展開している環境保全活動の神奈川県版を企画運営している。2016年から3年間、小松・城北地区の里山を活動場所として、「小松・城北」里山をまもる会、一般社団法人まちやま、関東EPO、神奈川県、相模原市などと連携し、親子向けの環境教育プログラムを年に2回実施してきた。毎回、定員15組を超える参加者に恵まれ、参加者アンケートの評価も高かった。

2019年から、持続可能な環境保全の仕組みづくりに向けて新たに3年間の事業が始まったが、2020年夏に実施する予定のプログラムはコロナの影響で開催できず、代替事業として動画制作とサイト構築をおこなうことになった。

実施日	内容	参加者	スタッフ
9/14（土）	親子で里山体験～畑の恵みを味わい、水辺ガサガサを楽しむ	51	13

委員・講師派遣等

1) 委員

○松村正治

- ・横浜市市民協働推進委員会市民活動運営支援事業部会長

○吉武美保子

- ・神奈川県里地里山保全協議会
- ・神奈川県自然環境保全審議会自然保護部会

2) 講師・執筆

○島村雅英

- ・横浜市環境創造局出前講座「ビオトープで小さな生態系を感じてみよう」を8回、のべ361名の児童に対して開催した。4月以降については、コロナ禍により学校が休校となったことから、出前講座の開催はなかった。

回	実施日	学校名	学年	人数
1	7/10（水）	藤塚小学校	4年	26
2	7/16（火）	青木小学校	6年	34
3	7/16（火）	青葉台小学校	6年	90

4	10/1 (火)	永田小学校	6年	36
5	10/9 (水)	浦島小学校	3年	31
6	11/6 (水)	桂小学校	5年	64
7	11/22 (金)	白幡小学校	環境委員会	30
8	12/4 (水)	公田小学校	5年	50

361

○松村正治

- ・8/20 (火) 泉区「あなたの“力” 発揮！応援フェアミニセミナー」(イトーヨーカドー立場店) 講演
- ・11/13 (水) グリーンインフラ研究会 (千葉チュータウン中央) にて話題提供
- ・11/18 (月) 南区地域の居場所づくりモデル事業コーディネーター派遣報告
- ・12/21 (土) ふくおか森づくり交流会 (福岡市) にて話題提供
- ・5/23 (土) 富山県南砺市 TOGA 森の大学にてオンライン講演
- ・『耕』(山崎農業研究所) 147号に論考「都市近郊の里山をいかす仕事づくり」を寄稿

○吉武美保子

- ・12/21 (土) ふくおか森づくり交流会 (福岡市にて話題提供)
- ・2/24 (月) 里地里山フォーラム (秦野市森林づくり課) にてコーディネーター

プロジェクト	第11期	第12期	第13期	第14期	第15期	第16期	第17期	第18期	第19期	第20期	備考
	2010.7-2011.6	2011.7-2012.6	2012.7-2013.6	2013.7-2014.6	2014.7-2015.6	2015.7-2016.6	2016.7-2017.6	2017.7-2018.6	2018.7-2019.6	2019.7-2020.6	
NORAの山仕事	245	209	231	223	290	296	315	288	391	347	2015.7-やま守り編も
ヤマ 竹を活かす山仕事	5	21	26	36	67	84	94	99	124	65	2011.4-
よこはま里山レンジャーズ			182	153	96	169	81	48	63	75	
里山保全を安全で楽しく							40	40	49	125	2019.9-モリダス共催
里山でシゴトづくり						129	98	177	165	41	
ノラ 休耕地再生で農体験	67	241	237	94							2011.4-2014.3
ヨコハマで農業体験	14	18	42	7							2011.4-2014.3
NORAの野良仕事	11	5	1	4							-2013.12
森と畑と音楽と				101	320	494	367	281	258	326	2013.11-
ムラ 神奈川野菜の食事会	273	197	195	164	103	95	38	73	62	53	
もったいないから竹細工①	100	75	48	82	135	137	135	166	177	141	竹かご教室
もったいないから竹細工②		27	21	42	135	160	264	253	471	462	竹細工工房、いちねん坊主
筆とお香	37	6	19	7	41						旧：野を描く→筆で描こう
お話の会	24	110	42	20							旧：朗読の夕べ
『食べものの通信』読者会										25	2019.12-
はまどまシアター（映画）			8	27		110	71	51	60	32	2013.6-
はまどまで土間仕事				27	27	135	66	64	26	32	2014.2-
はまどま手習い塾					24	130	118	61	47	61	旧：NORAの部活
NORAサロン・ライブ				51	69	38	0	70	48	56	2013.12復活
はまどま諸々（会員外）								75	131	21	
はまどまオープン										162	2019.8-
はまどまPJ計	434	415	333	420	534	805	692	813	1,022	1,045	
イキ 旬の里山探訪	60	29	106	148	198	167	176	184	191	127	外部スタッフ除く
モノ トンボとり大作戦							146	127	154	167	前期6月分を含む
Green Gift							79	101	84	51	外部スタッフ除く
ハレ 竹細工ワークショップ								68	68		
特別なハレ		125		54			23	15			
合計	836	1,063	1,158	1,240	1,505	2,144	2,111	2,241	2,569	2,369	
		※10周年		※TPP			※里山ガ'-デン	※里山ガ'-デン			
サイト訪問者数	1,686	1,732	2,271	2,650	2,762	2,770	3,342	4,707	3,511	3,727	
サイト閲覧頁数	6,260	5,655	7,316	7,371	7,297	9,113	9,507	12,027	11,199	10,690	
直帰率	53.20	57.57	57.83	63.64	65.70	60.49	64.46	67.45	67.66	70.27	(単位: %)

活動計算書

[税込] (単位:円)

特定非営利活動法人よこはま里山研究所

自 2019年 7月 1日 至 2020年 6月30日

【経常収益】		
【受取会費】		
運営会員受取会費	168,000	
一般会員受取会費	345,000	513,000
【受取寄付金】		
受取寄付金		1,471,874
【受取助成金等】		
受取助成金		1,430,000
【事業収益】		
自主事業収入	2,036,950	
販売事業収入	288,993	
受託事業収入	7,397,960	9,723,903
【その他収益】		
受取 利息	83	
雑 収 入	144,000	144,083
経常収益 計		13,282,860
【経常費用】		
【事業費】		
(人件費)		
人件費計	0	
(その他経費)		
業務委託費(事業)	4,964,878	
諸 謝 金(事業)	2,386,847	
印刷製本費(事業)	21,610	
会 議 費(事業)	10,861	
旅費交通費(事業)	20,498	
通信運搬費(事業)	42,166	
消耗品 費(事業)	2,303,000	
器具備品費(事業)	0	
修 繕 費(事業)	13,189	
賃 借 料(事業)	30,646	
減価償却費(事業)	68,915	
保 険 料(事業)	83,457	
調査研究費(事業)	70,000	
支払手数料(事業)	22,014	
広告宣伝費(事業)	33,000	
販売仕入(事業)	256,982	
雑 費(事業)	20,300	
その他経費計	10,348,363	
事業費 計		10,348,363
【管理費】		
(人件費)		
人件費計	0	
(その他経費)		
印刷製本費	7,700	
業務委託費	100,000	
通信運搬費	152,587	
消耗品 費	134,978	
水道光熱費	104,232	
地代 家賃	987,975	
諸 会 費	18,172	
租税 公課	4,900	
支払手数料	33,818	
雑 費	20,100	
その他経費計	1,564,462	
管理費 計		1,564,462
経常費用 計		11,912,825
当期経常増減額		1,370,035
【経常外収益】		
経常外収益 計		0
【経常外費用】		
経常外費用 計		0
税引前当期正味財産増減額		1,370,035
法人税、住民税及び事業税		74,500
当期正味財産増減額		1,295,535
前期繰越正味財産額		12,278,300
次期繰越正味財産額		13,573,835

貸借対照表

特定非営利活動法人よこはま里山研究所
全事業所

[税込] (単位: 円)
2020年 6月30日 現在

資 産 の 部		負 債 ・ 正 味 財 産 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】		【流動負債】	
(現金・預金)		未払金	225,000
現金	0	前受金	400,000
普通預金	13,598,544	納税充当金	74,500
現金・預金計	13,598,544	流動負債計	699,500
(売上債権)		負債合計	699,500
未収金	109,816	正味財産の部	
売上債権計	109,816	【正味財産】	
(その他流動資産)		前期繰越正味財産額	12,278,300
立替金	19,070	当期正味財産増減額	1,295,535
前払費用	82,500	正味財産計	13,573,835
その他流動資産計	101,570	正味財産合計	13,573,835
流動資産合計	13,809,930		
【固定資産】			
(有形固定資産)			
機械及び装置	147,825		
有形固定資産計	147,825		
(無形固定資産)			
電話加入権	89,880		
無形固定資産計	89,880		
(投資その他の資産)			
敷金	225,700		
投資その他の資産計	225,700		
固定資産合計	463,405		
資産合計	14,273,335	負債及び正味財産合計	14,273,335

財 産 目 録

特定非営利活動法人よこはま里山研究所
全事業所

[税込] (単位: 円)
2020年 6月30日 現在

《資産の部》			
【流動資産】			
(現金・預金)			
現金	0		
普通預金	13,598,544		
横浜銀行(本部)	(10,504,832)		
横浜銀行(島村)	(1,420,553)		
横浜銀行(ヤマ)	(428,468)		
横浜銀行(吉武)	(87,448)		
横浜銀行(竹)	(1,000)		
横浜銀行(本部/松村)	(1,000)		
横浜銀行本郷台支店(本部)	(11,807)		
ゆうちょ銀行宿町(どま)	(384,816)		
ゆうちょ銀行振替(本部)	(758,620)		
現金・預金計	13,598,544		
(売上債権)			
未収金	109,816		
売上債権計	109,816		
(その他流動資産)			
立替金	19,070		
前払費用	82,500		
その他流動資産計	101,570		
流動資産合計		13,809,930	
【固定資産】			
(有形固定資産)			
機械及び装置	147,825		
有形固定資産計	147,825		
(無形固定資産)			
電話加入権	89,880		
無形固定資産計	89,880		
(投資その他の資産)			
敷金	225,700		
投資その他の資産計	225,700		
固定資産合計		463,405	
資産の部合計		14,273,335	
《負債の部》			
【流動負債】			
未払金	225,000		
前受金	400,000		
納税充当金	74,500		
流動負債計		699,500	
負債の部合計		699,500	
正味財産		13,573,835	

第20期（2019.7.1-2020.6.30）部門別集計表

	全事業所	事務局	広報	ヤマ（合計）	ヤマ（自主）	ヤマ（販売）	ムラ	受託
《経常増減の部》								
【経常収益】								
【受取会費】								
運営会員受取会費	168,000	168,000	0	0	0	0	0	0
一般会員受取会費	345,000	345,000	0	0	0	0	0	0
賛助会員受取会費	0	0	0	0	0	0	0	0
受取会費 計	513,000	513,000	0	0	0	0	0	0
【受取寄付金】								
受取寄付金	1,471,874	0	0	1,461,500	1,461,500	0	10,374	0
受取寄付金 計	1,471,874	0	0	1,461,500	1,461,500	0	10,374	0
【受取助成金等】								
受取助成金	1,430,000	0	0	30,000	30,000	0	1,400,000	0
受取助成金等 計	1,430,000	0	0	30,000	30,000	0	1,400,000	0
【事業収益】								
自主事業収益	2,036,950	0	0	44,000	44,000	0	1,992,950	0
販売事業収益	288,993	0	0	288,993	0	288,993	0	0
受託事業収益	7,397,960	0	0	0	0	0	0	7,397,960
事業収益 計	9,723,903	0	0	332,993	44,000	288,993	1,992,950	7,397,960
【その他収益】								
受取 利息	83	69	0	1	1	0	2	11
雑 収 益	144,000	0	0	0	0	0	0	144,000
その他収益 計	144,083	69	0	1	1	0	2	144,011
経常収益 計	13,282,860	513,069	0	1,824,494	1,535,501	288,993	3,403,326	7,541,971
【経常費用】								
【事業費】								
（人件費）								
人件費計	0	0	0	0	0	0	0	0
（その他経費）								
業務委託費（事業）	4,964,878	0	39,597	120,000	120,000	0	830,742	3,974,539
諸 謝 金（事業）	2,386,847	0	11,000	482,000	482,000	0	298,134	1,595,713
印刷製本費（事業）	21,610	0	0	9,600	9,600	0	3,740	8,270
会議費（事業）	10,861	0	0	6,123	6,123	0	0	4,738
旅費交通費（事業）	20,498	0	0	19,576	19,576	0	0	922
通信運搬費（事業）	42,166	0	8,410	0	0	0	9,376	24,380
消耗品 費（事業）	2,303,000	0	0	307,952	307,952	0	1,589,012	406,036
器具備品費（事業）	0	0	0	0	0	0	0	0
修 繕 費（事業）	13,189	0	0	13,189	13,189	0	0	0
賃借料（事業）	30,646	9,856	0	0	0	0	0	20,790
減価償却費（事業）	68,915	0	0	68,915	68,915	0	0	0
保 険 料（事業）	83,457	0	0	46,557	46,557	0	36,900	0
調査研究費（事業）	70,000	0	0	0	0	0	0	70,000
支払手数料（事業）	22,014	0	0	7,554	7,554	0	4,150	10,310
広告宣伝費（事業）	33,000	0	0	30,000	30,000	0	3,000	0
販売仕入（事業）	256,982	0	0	256,982	0	256,982	0	0
雑費（事業）	20,300	0	0	0	0	0	18,700	1,600
その他経費計	10,348,363	9,856	59,007	1,368,448	1,111,466	256,982	2,793,754	6,117,298
事業費 計	10,348,363	9,856	59,007	1,368,448	1,111,466	256,982	2,793,754	6,117,298
【管理費】								
（人件費）								
人件費計	0	0	0	0	0	0	0	0
（その他経費）								
印刷製本費	7,700	7,700	0	0	0	0	0	0
業務委託費	100,000	100,000	0	0	0	0	0	0
通信運搬費	152,587	0	0	0	0	0	47,301	105,286
消耗品 費	134,978	134,978	0	0	0	0	0	0
水道光熱費	104,232	0	0	0	0	0	32,311	71,921
地代 家賃	987,975	0	0	0	0	0	306,272	681,703
諸 会 費	18,172	18,172	0	0	0	0	0	0
租税 公課	4,900	0	0	0	0	0	0	4,900
支払手数料	33,818	33,818	0	0	0	0	0	0
雑 費	20,100	20,100	0	0	0	0	0	0
その他経費計	1,564,462	314,768	0	0	0	0	385,884	863,810
管理費 計	1,564,462	314,768	0	0	0	0	385,884	863,810
経常費用 計	11,912,825	324,624	59,007	1,368,448	1,111,466	256,982	3,179,638	6,981,108
当期経常増減額	1,370,035	188,445	-59,007	456,046	424,035	32,011	223,688	560,863
《経常外増減の部》								
【経常外収益】								
経常外収益 計	0	0	0	0	0	0	0	0
【経常外費用】								
経常外費用 計	0	0	0	0	0	0	0	0
《正味財産増減の部》								
税引前当期正味財産増減額	1,370,035	188,445	-59,007	456,046	424,035	32,011	223,688	560,863
法人税、住民税及び事業税	74,500	74,500	0	0	0	0	0	0
当期正味財産増減額	1,295,535	113,945	-59,007	456,046	424,035	32,011	223,688	560,863
前期繰越正味財産額	12,278,300							
次期繰越正味財産額	13,573,835							

第20期（2019.7.1-2020.6.30）予算実績表

勘定科目名称	予算	実績	差額
			(実績 - 予算)
《経常増減の部》			
【経常収益】			
【受取会費】			
運営会員受取会費	180,000	168,000	△ 12,000
一般会員受取会費	240,000	345,000	105,000
賛助会員受取会費	20,000	0	△ 20,000
受取会費 計	440,000	513,000	73,000
【受取寄付金】			
受取寄付金	1,250,000	1,471,874	221,874
受取寄付金 計	1,250,000	1,471,874	221,874
【受取助成金等】			
受取助成金	600,000	1,430,000	830,000
受取助成金等 計	600,000	1,430,000	830,000
【事業収益】			
自主事業収益	2,900,000	2,036,950	△ 863,050
販売事業収益	60,000	288,993	228,993
受託事業収益	6,600,000	7,397,960	797,960
事業収益 計	9,560,000	9,723,903	163,903
【その他収益】			
受取 利息	0	83	83
雑 収 益	150,000	144,000	△ 6,000
その他収益 計	150,000	144,083	△ 5,917
経常収益 計	12,000,000	13,282,860	1,282,860
【経常費用】			
【事業費】			
(人件費)			
人件費計	0	0	0
(その他経費)			
業務委託費(事業)	4,800,000	4,964,878	164,878
諸 謝 金(事業)	2,250,000	2,386,847	136,847
印刷製本費(事業)	70,000	21,610	△ 48,390
会 議 費(事業)	10,000	10,861	861
旅費交通費(事業)	100,000	20,498	△ 79,502
通信運搬費(事業)	50,000	42,166	△ 7,834
消耗品 費(事業)	800,000	2,303,000	1,503,000
器具備品費(事業)	0	0	0
修 繕 費(事業)	200,000	13,189	△ 186,811
賃 借 料(事業)	200,000	30,646	△ 169,354
減価償却費(事業)	90,000	68,915	△ 21,085
保 険 料(事業)	120,000	83,457	△ 36,543
諸 会 費(事業)	5,000	0	△ 5,000
調査研究費(事業)	40,000	70,000	30,000
支払手数料(事業)	15,000	22,014	7,014
広告宣伝費(事業)	50,000	33,000	△ 17,000
販売任入(事業)	50,000	256,982	206,982
雑 費(事業)	20,000	20,300	300
その他経費計	8,870,000	10,348,363	1,478,363
事業費 計	8,870,000	10,348,363	1,478,363
【管理費】			
(人件費)			
人件費計	0	0	0
(その他経費)			
印刷製本費	5,000	7,700	2,700
業務委託費	100,000	100,000	0
通信運搬費	100,000	152,587	52,587
消耗品 費	30,000	134,978	104,978
水道光熱費	150,000	104,232	△ 45,768
地代 家賃	972,000	987,975	15,975
諸 会 費	30,000	18,172	△ 11,828
租税 公課	5,000	4,900	△ 100
支払手数料	33,000	33,818	818
雑 費	5,000	20,100	15,100
その他経費計	1,430,000	1,564,462	134,462
管理費 計	1,430,000	1,564,462	134,462
経常費用 計	10,300,000	11,912,825	1,612,825
当期経常増減額	1,700,000	1,370,035	△ 329,965
《経常外増減の部》			
【経常外収益】			
経常外収益 計	0	0	0
【経常外費用】			
経常外費用 計	0	0	0
《正味財産増減の部》			
税引前当期正味財産増減額	1,700,000	1,370,035	△ 329,965
法人税、住民税及び事業税	74,500	74,500	0
当期正味財産増減額	1,625,500	1,295,535	△ 329,965

(千円)	1期	2期	3期	4期	5期	6期	7期	8期	9期	10期	11期	12期	13期	14期	15期	16期	17期	18期	19期	20期
当期収入合計	4,622	12,870	26,665	23,441	25,389	15,341	7,073	8,353	14,125	6,016	8,144	9,029	5,740	3,060	5,476	7,619	12,794	10,740	12,294	13,283
当期支出合計	4,069	11,959	22,184	24,567	21,946	18,672	10,380	6,946	11,174	6,633	7,953	7,644	5,261	3,601	4,984	6,702	10,669	9,256	11,912	11,987
当期収支差額	552	911	4,481	-1,126	3,443	-3,331	-3,307	1,408	2,950	-617	191	1,385	480	-542	492	916	2,125	1,483	382	1,296

前期繰越収支差額	0	552	1,464	5,945	4,819	8,262	4,932	1,624	3,032	5,983	5,366	5,557	6,942	7,422	6,880	7,372	8,288	10,413	11,896	12,278
次期繰越収支差額	552	1,464	5,945	4,819	8,262	4,932	1,624	3,032	5,983	5,366	5,557	6,942	7,422	6,880	7,372	8,288	10,413	11,896	12,278	13,574

自主事業参加者数											836	1,063	1,158	1,240	1,505	2,144	2,111	2,241	2,569	2,369
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	-----	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

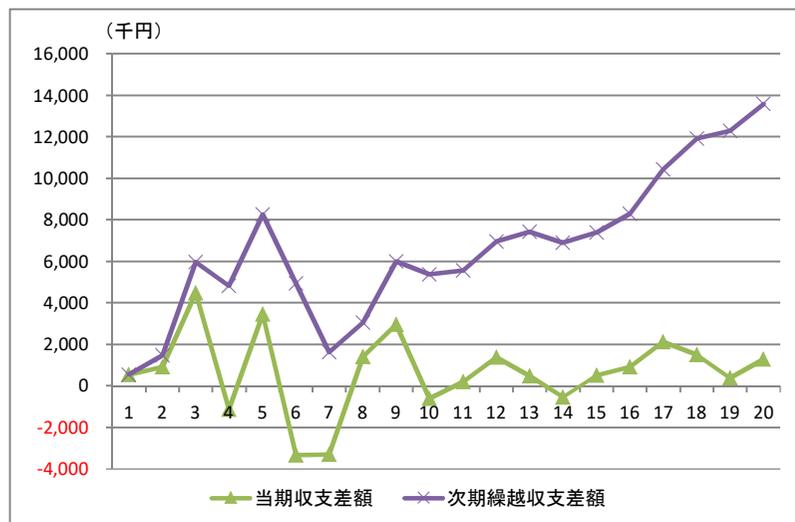


図 当期収支差額および次期繰越収支差額の推移

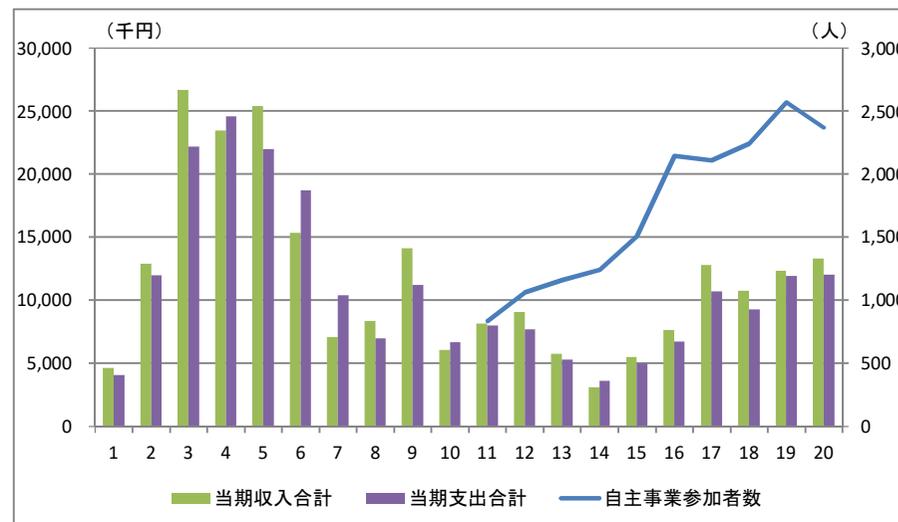


図 当期収入合計および当期支出合計の推移

第3号議案 第21期事業計画（2020年7月～2021年6月）

2000年の設立したNORAは、2020年にちょうど20周年を迎える。これまでの活動を振り返り、これからのNORAのこと、里山のことを考えるのに適した1年であろう。

今日のNORAをめぐる外部環境として、まずは世界的な環境意識の高まりを挙げることができる。2015年に国連がSDGsを採択し、同じ年に気候変動に関わるパリ協定が合意されたことにより、持続可能な社会・経済活動のためには環境保全が必要であるという認識が高まっている。また、日本においては、少子高齢化の影響などから低成長時代が長く続いており、さらに新型コロナウイルスの感染拡大によって、東京一極集中に象徴されるような過密な都市への集住が見直され、地方・自然を求めて「里山とかかわる暮らし」「里山をいかすシゴトづくり」への関心が高まっている。こうした状況はNORAにとってプラスに働くはずであるが、一方で運営に関わる中心的なメンバーは固定化してきていることから、事業の内容や実施方法、広報手段、運営体制等を広範に見直し、組織基盤を強化することが必要となっている。

このような状況把握から、第21期中に取り組みことを3つ挙げる。

①2030年を見通したビジョン・中長期計画の作成

ミッション・ビジョンを確認しつつ、その方針に基づいた事業内容、運営体制、資金調達を包括的に検討して、2030年を目標年とした中長期計画にまとめる。そのための材料として、2019年12月に開始したシリーズNORAサロンでの話題提供と議論を参考にする。また、プロボノの知恵を借りて、ウェブマーケティングの手法も取り入れる。ビジョンや中長期計画をNORAに集う一人ひとりの自分事にするには、何を作成するかよりも、どのように作るかというプロセスの方が重要である。会員・関係者それぞれが10年後を想像し、2030年にどのような世界を実現したいのかと自由に夢を語り合い、コミュニケーションの質を深めて、SDGs時代・ウィズコロナ時代にふさわしい計画の作成に取り組むこととする。

②コーディネーターを中心とした「はまどま」運営の社会実験

改修後の「はまどま」を「街なかの里山の入り口」として積極的に活用するために、2020年8月からコーディネーターを置き、蒔田地区をモデルとして、地域との連携を助けながら課題解決や価値創造に努め、持続的な場づくりを図っていく。従来通りに、各プロジェクトの自律性に基づく組織運営のあり方を維持しながらも、運営スタッフの個人的な献身に依存しないようにすることが必要であることから、段階的に運営の仕組みをつくりながら、適宜、運営スタッフの増員、ICTの活用、アウトソーシング等も進めていく。

その中でも優先すべきこととして、改修後の「はまどま」のお披露目を開くこと、「はまどま寄り合い会議」のメンバーと定期的に意見交換する機会をつくることがある。また、コロナの影響による活動制約に対して、さまざまな工夫が求められるが、たとえば、活動場所を「はまどま」のみと捉えるのではなく、蒔田公園をはじめとした周辺まで含めて考えてみたり、オンラインとの併用を進めてみたりしてもよい。さらに、活動の制約が解かれるまでの間に、スタッフ側のスキルアップに力を入れて、個々の伝える力・巻き込む力を高めることも重要であろう。

③20周年記念事業の検討・実施

設立20周年を記念した事業として、何が適切であるのかをよく検討したうえで実施する（予算規模50万円）。設立10周年記念事業ではフォーラム「横浜発・里山がつなぐ地域と未来」を開催したが、20周年はイベントではなく、成果物として残るもの、それも回顧的な内容にとどまるのではなく、未来の活動を担う人たちに向けて発信する価値のある内容にしたい。

里山保全ボランティア団体の現状を見ると、横浜市内に限らず、どの地域でも高齢化・固定化の問題が深刻になっており、NORAもまた年々高齢化が進行している。一方で、多摩三浦丘陵群の里山では、20-30代の起業家が生まれたり、子育て世代が自主的に共同で畑を借りて、自給用の作物を育てたりする例は珍しくない。つまり、参加者層は異なるものの活動内容や価値観には共通性が多いので、NORAが20年間にわた

り蓄積してきた経験は、こうした未来の活動を担う人たちのニーズに、かなり応えられると思われる。ただし、参加者個人の経験は時代状況によって相当異なることも踏まえる必要があるだろう。そこで、わかりやすい言葉で視覚的にも伝えられるような表現手段、たとえば絵本のようなものを制作することが考えられるだろう。その際、NORAが「里山とかかわる暮らしを」勧めている対象が、都市に暮らす人たちをイメージしていることから、さらに、②の事業展開のことも含めて考えると、街なかの視点から里山について描写するという語り方・描き方が求められるだろう。

以上のような活動を展開しながらも、定例の自主活動（ヤマ・ノラ・ムラ・ハレ・イキモノ）も着実に継続し、「根を持つことと翼をもつこと」を両立させていく。

自主事業

1. ヤマ事業

- 1) NORAの山仕事 {別紙計画書のとおり}
- 2) 竹を活かす山仕事 {別紙計画書のとおり}
- 3) よこはま里山レンジャーズ {別紙計画書のとおり}
- 4) 山道具の安全使用

環境に配慮し、より安全性を高めた里山保全活動用の機材使用をすすめ、機材を斡旋する。チェーンソーや自然環境分解型チェーンオイル等を販売する（販売目標10万円）。

5) まちの近くで里山をいかすシゴトづくり

これまで、多摩三浦丘陵群の里山を想定して、広域的に取り組むべき共通課題を見出し、その課題に対して協働して取り組めそうな人・団体とのネットワーク化を進めてきた。すでに単発のイベント開催や情報の共有等の取り組みは十分に実施してきたので、「里山コネクト」に参加しているような団体に対し、具体的な協働事業を提案して事業化を試みていく。

6) 安全で楽しい森林づくり活動を指導できるリーダー養成事業

（令和2年度「緑と水の森林ファンド」主催：モリダス）

モリダス主催事業と共催するかたちで、安全で楽しい森林づくり活動と森林資源の利用を推進するために、現場リーダーを養成するとともに、横浜・多摩地域の活動団体との連携を深めてネットワークを強化する。具体的には、安全で楽しい森林づくり活動を推進する現場リーダー養成講座（①手工具の使い方、②受け口・追い口、③ロープワーク、④手道具とロープで安全に木を倒す方法、⑤刈払機、⑥チェーンソー、⑦現場のコミュニケーション）、リーダー養成講座のオンライン教材の制作・ウェブ公開、森林資源の利用を促進するために実践例を学ぶ講習会、活動団体の情報交換会、ネットワーク化を予定している。

2. ノラ事業

- 1) 森と畑と音楽と {別紙計画書のとおり}

3. ムラ事業

- 1) はまどまプロジェクト
 - (1) NORA 野菜市 {別紙計画書のとおり}
 - (2) 生産者の心とともに季節を味わう神奈川野菜の食事会 {別紙計画書のとおり}
 - (3) もったいないから竹細工 {別紙計画書のとおり}
 - (4) 里山の恵み・伝統文化に出会う上映会 {別紙計画書のとおり}
 - (5) 『食べもの通信』読者会 {別紙計画書のとおり}

(6) 設立 20 周年記念シリーズ NORA サロン {別紙計画書のとおり}

(7) はまどま諸々 {別紙計画書のとおり}

はまどまで土間仕事／季節の素材でスイーツメイキング／お香のてならい／心も体も元気に季節の菓
膳食事会／旬の神奈川野菜でトルコ料理を作ろう！／四季の宴～神奈川野菜で至福のフレンチ

(8) そのほか

会員が主体的に得意なことを教えたり、興味のあることを参加者と学び合ったりする活動を推進する。

2) 地域連携・ネットワーク

南区役所、宮宿花 1・2 丁目町内会、蒔田公園愛護会、フォーラム南太田、睦地域ケアプラザなど、蒔田
地区周辺の公共機関・団体との連携を深める。また、まいたエコサロンの会、横浜コミュニティカフェネ
ットワークの一員として、ネットワーク活動に協力する。

4. ハレ事業

1) 伊勢佐木町地モノ市

2020 年秋、伊勢佐木町商店街のエコイベントが開催されるならば、そこに参加するかたちで「地モノ市」
を開催する。

5. イキモノ事業

1) 旬の里山探訪

NPO 法人新治里山「わ」を広げる会の新治里山公園運営プロジェクトが「にいほる里山交流センター」で
実施しているイベントに協力する。

2) トンボはどこまで飛ぶかフォーラム

フォーラムの一員として、森里川海との連携を図り、生物多様性の保全に繋がる活動をおこなう。

6. 広報事業

1) ウェブサイト更新・メールマガジン配信・SNS による情報発信

ウェブサイトのセキュリティ対策のため、https 化して常時 SSL に対応する。ページの更新頻度を上げ、
月間閲覧頁数 15,000 以上となることを目指す。記事の掲載については、一部の会員に負担が集中しないよ
う役割分担を進める。

ウェブサイトと連携しながら、定期的に「里山と暮らしをつなぐメールマガジン」を配信して、効果的
に情報を発信する。メルマガは、セキュリティ対策と参加率向上のために、有料メール配信サービスを利用
し、HTML メール配信も始める。また、SNS (Twitter・Facebook・Instagram) を利用して、柔軟に迅速
に情報を発信するとともに、ウェブサイトとの相乗効果を高める。

2) 活動報告書の作成

2020 年の活動報告書を作成し、年末に年会費の依頼とともに会員に送付する。

協働・受託事業

適宜、社会のニーズに応じて協働・受託事業を進める。また、ボランティア体験、インターンシップの受
入は、可能な限り引き受ける。

委員・講師派遣

行政・NPO・大学等からの求めに応じて、里山保全や市民活動等に関する委員・講師を派遣する。

プロジェクト名	NORA の山仕事		
カテゴリー	ヤマ		
リーダー	下山康博		
スタッフ(リーダーを除く)	中林博志、島村雅英		
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・「利用する森」をコンセプトにして、手入れによって豊かな森をつくる ・森の恵みを様々なかたちで利用して、森とかわる暮らしを横浜で実践する 		
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・林内に蓄積してしまった廃材の処理を促進させる ・苗場エリアの整備(山野草花壇の増設など)を進める ・湧き水エリアの整備促進(砂防ダムの設営など) ・メンバーのスキルアップを促進させる ・参加者が快適に森で作業できる環境を整える 		
内容	常緑樹の除伐や下草刈、落葉樹苗の育苗から定植など、豊かな森づくりを目標に作業を行っている。除伐した材を有効活用するために、丸太を製材しスツールなどの木工品を製作したり、薪などにも利用したりしている。		
日時	定例活動:第 2・第 4 日曜日/やま守り編:第 1・第 3 土曜日(不定期) 活動時間 10:00～16:00		
場所	旭区下川井町 特別緑地保全地区		
年間スケジュール	10:00 川井緑地に集合 ミーティングを行い作業内容、使用する道具を確認 10:30 現場にて作業開始 12:00 昼食 13:00 作業開始 15:00 作業終了 道具の整備、活動の振り返りと予定を確認 16:00 解散		
一般募集の有無	有(定員未定)		
参加費の有無	500 円(グリーンボランティア保険加入料として)		
収入見込額(a)	助成金収入	410,000 円	緑の募金
	参加費・寄付金収入	200,000 円	9 月・10 月 新治機械除草
	資材販売収入	30,000 円	
	<計>	640,000 円	
支出見込額(b)	資材費	150,000 円	
	謝金	120,000 円	
	保険料	100,000 円	@400 円×160 人+@1,500 円×24 回
	事務委託費	120,000 円	@10,000 円×12 か月
	消耗品費	140,000 円	燃料・工具修理、事務用品等
	<計>	640,000 円	
収支見込額(a-b)	0 円		
備考	緑の募金公簿事業「都市の里山資源の活用推進」(交付決定額 410,000 円)		
作成年月日	2020 年 8 月 9 日	作成者名	下山康博

プロジェクト名	竹を活かす山仕事		
カテゴリー	ヤマ		
リーダー	下山康博		
スタッフ(リーダーを除く)	小林準治、三宅健也		
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・畑や水源林である山々を侵食する竹林の手入れをおこなう。 ・竹林整備を行なうことで、恵ある里山の生態系を維持する。 ・整備活動によって排出された竹材を有効活用する。 		
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・事業への継続的な参加者を募ると共に、運営を担えるスタッフを募る。 ・民有地の竹林整備を継続する。 ・良質な材を生産できる竹林を目標とし、整備をおこなう。 ・横浜市内で生産性を望める竹林を探す。 		
内容	南足柄郡中井町にある竹林において、竹の間伐作業をおこなう。切り出した竹は、竹ひご作りの練習用に用いたり、カトラリーを製作する材料として活用したりする。		
日時	毎月第 3 日曜日 10:00～15:00 ※8～9 月は中井町での伐り出し作業はなし		
場所	南足柄郡中井町		
年間スケジュール	9:00 京浜急行 上大岡駅集合 10:00 セブンイレブン下曽我店 10:30 現地到着 作業開始 12:00 昼休み 13:00 作業再開 14:00 作業終了、材の積み込み 15:00 現地解散		
一般募集の有無	有(定員未定)		
参加費の有無	500 円(中井集合)/1,000 円(上大岡集合)		
収入見込額(a)	参加費	20,000 円	@500 円×4×10 回
	寄付金	40,000 円	@10,000×4 人×10 回
	<計>	60,000 円	
支出見込額(b)	交通費	22,600 円	@2,260 円×10 回
	燃料費	17,000 円	@17,000 円×10 回
	消耗品費	20,400 円	
	<計>	60,000 円	
収支見込額(a-b)	0 円		
備考			
作成年月日	2020 年 8 月 9 日	作成者名	下山康博

プロジェクト名	よこはま里山レンジャーズ		
カテゴリー	ヤマ		
リーダー	島村雅英		
スタッフ(リーダーを除く)	よこはま里山レンジャーズプロジェクトメンバー(松村、下山、吉武、中林)		
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・里山保全活動に新たなメンバーが加わり、環境活動団体の活性化を支援が図られる。 ・レンジャーズ活動が推進される。 		
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・レンジャーズをのべ 10 回、里山等保全活動に派遣する。 ・活動をとおして運営スタッフやレンジャーズリーダーとなりうる人材を育成する。 		
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・レンジャーズ受け入れ団体となる環境活動団体と活動内容、日程の調整をおこない、レンジャーズ隊員を派遣する。 ・レンジャーズリーダーを育成する。 ・指定管理者などからの活動資金提供を模索する。 ・森づくりボランティア体験事業(横浜市)の参加案内をレンジャーズに発信する。 		
日時	<ul style="list-style-type: none"> ・レンジャーズ派遣:月 1 回程度 週末 ・森づくりボランティア体験事業の案内:月 1 回程度 		
場所	レンジャーズ派遣先:受け入れ団体活動場所(年間スケジュール参照)		
年間スケジュール	<p>活動計画づくり 3 月、レンジャーズ派遣 7 月～6 月(除く 8 月)</p> <p>7 月 18 日(土) 新治の谷戸田 土手の草刈り(コロナ禍で中止)</p> <p>9 月 20 日(日) 川井緑地 里山のお手入れ</p> <p>10 月 24 日(土) 瀬上市民の森 ヤマアガエルが産卵する湿地の草刈り</p> <p>11 月 恩田の谷戸 収穫祭 脱穀・粃すり</p> <p>12 月 6 日(日) 桜ヶ丘緑地 里山のお手入れ</p> <p>1 月 24 日(日) 川井緑地 里山のお手入れ</p> <p>2 月 14 日(日) 瀬上市民の森 樹林地の除伐、間伐</p> <p>5 月新治の谷戸田、6 月元町公園プール予定</p>		
一般募集の有無	レンジャーズ登録を原則、1回あたり 10～20 人 レンジャーズ登録はメルマガ・HP、自然環境復元協会からの呼びかけ		
参加費の有無	無料		
収入見込額(a)	事業収入	100,000 円	森づくりボランティア体験事業から
	<計>	100,000 円	
支出見込額(b)	謝金	100,000 円	@10,000 円×10 回 リーダー派遣
	<計>	100,000 円	
収支見込額(a-b)	0 円		
備考	レンジャーズ名簿管理:自然環境復元協会 受け入れ団体:恩田の谷戸ファンクラブ、瀬上さとやまのりの会、新治里山「わ」を広げる会、桜ヶ丘・水辺のある森再生プロジェクト、横浜にとんぼを育てる会		
作成年月日	2020 年 8 月 9 日	作成者名	島村雅英

プロジェクト名	森と畑と音楽と		
カテゴリー	ノラ		
リーダー	中川樺		
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・休耕農地を利用することで地域環境や農地を維持する。 ・参加者が一連の農作業を体験することで、作物を育て収穫する喜びを体感する。 ・山仕事で出てくる木材の保管および製材・加工場所として活用する。 ・常時作付けが可能のように土地を管理する。 		
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・イベント参加者ではなく、準備運営に携わるスタッフの確保 ・マーケットやマルシェなど生産物の消費先(販路)の拡大 ・畑の効率的な利用方法の検討および実践 ・福祉との連携を目指し、地域福祉施設とのかかわりを積極的にもつ 		
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・農地管理(草刈り・草取り・耕耘) ・作物の育成(作付け・施肥・防虫管理・収穫) ・収穫体験の実施 ・活動場所です採れた野菜を使った料理 ・林産物や伐採樹木の活用 ・子ども向け環境教育の実施 ・音楽会の実施 ・クラフト全般(おもに木工。電動工具も使用可能) 		
日時	基本的に毎週日曜日 10:00～17:00 (土曜日活動になることもあり:要連絡)		
場所	厚木市七沢・伊勢原市日向		
年間スケジュール	<p>7 月 収穫作業 草刈り 種まき 田んぼの草取り</p> <p>8 月 夏野菜収穫 草刈り 畝作り 種まき・苗植え付け 水田草取り</p> <p>9 月 草取り 苗植え付け 種まき</p> <p>10 月 草刈り 草取り 収穫作業 稲刈り</p> <p>12 月上旬 収穫祭</p> <p>11～2 月 収穫作業 クラフト(伐採した木材等の活用)</p> <p>2～3 月 耕耘・クラフト</p> <p>3 月 マーケットイベント出展・子ども自然体験プログラム(川遊び・昼食作り)</p> <p>4 月 種まき 中旬～下旬 草刈り 耕運 施肥</p> <p>5 月 苗植え付け 種まき 草刈り・畝作り 水田のための用水路清掃</p> <p>4～6 月 種まき 苗植え(サツマイモ) 草刈り</p> <p>6 月 田植え (田植え体験)</p>		
一般募集の有無	有 (定員未定)		
参加費の有無	有 (参加プログラムによる)		
収入見込額(a)	農業体験委託	60,000 円	
	体験参加費	100,000 円	@1,000×100 人・回
	<計>	160,000 円	
支出見込額(b)	購入費	100,000 円	種苗 40,000 円、肥料 10,000 円、資材 50,000 円
	借地料	30,000 円	地主 3 名へのお礼
	燃料代ほか	30,000 円	ガソリン・オイル代 20,000 円、雑費 10,000 円
	<計>	160,000 円	
収支見込額(a-b)	0 円		
備考			
作成年月日	2020 年 7 月 31 日	作成者名	中川 樺

■NORA 第21期プロジェクト計画書(2020年7月～2021年6月)

プロジェクト名	NORA 野菜市		
カテゴリー	ムラ		
リーダー	三好豊		
スタッフ(リーダーを除く)	田島里美		
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な交流できる生産者の作物を中心に利用をすすめ、神奈川の農業を支える人びとの輪を広げる。 ・安全でおいしい作物を育むことができる環境を生産者とともに次世代につなげる。 		
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・「野菜市」を継続するための工夫 ・若い世代との共同 		
内容	神奈川県内の生産者の作物を販売しながら、農業・食糧に関わる情報の発信。		
日時	毎週火曜日 17:00～19:00		
場所	大和ビル駐車場		
年間スケジュール	原則的には祝日も開催。 8月18日(火)、1月5日(火)、5月4日(火)休み		
一般募集の有無	無		
参加費の有無	無		
収入見込額(a)			
支出見込額(b)			
収支見込額(a-b)	神奈川県・緑の劇場から、はまどま運営費として年間 300,000 円を寄付する。		
備考			
作成年月日	2020年8月19日	作成者名	三好豊

■NORA 第21期プロジェクト計画書(2020年7月～2021年6月)

プロジェクト名	生産者の心とともに季節を味わう神奈川野菜の食事会		
カテゴリー	ムラ		
リーダー	三好豊		
スタッフ(リーダーを除く)	勝野真美、服部典子、動画撮影・写真撮影スタッフほか		
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な神奈川が生産者が育てた作物を基本にした献立の食事会。 ・農業・食糧情報と合わせた献立の発信。 		
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・動画や写真など映像での記録と発信。 ・代表的な献立のレシピ公開 		
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・季節の農産物・特徴のある農産物を中心にした献立づくりを充実させる。 ・今までの野菜の顔を見て献立を決める方式に加えて、雑誌や書籍などに載っている野菜料理のレシピで作ってみたいものを持ち寄り作ってみる。 ・しばらくの間は大皿ではなく、個別に料理を盛り、美しさにもひと手間を工夫する。 		
日時	第1土曜日 18:00～20:00 準備 14:00～ 片付け～21:30		
場所	はまどま		
年間スケジュール	9月5日(土)、10月3日(土)、11月7日(土)、12月5日(土)、1月未定、2月6日(土)、3月6日(土)、4月3日(土)、5月1日(土)、6月5日(土)		
一般募集の有無	有		
参加費の有無	有		
収入見込額(a)	参加費 <計>	90,000円 90,000円	@1,000円×90人
支出見込額(b)	消耗品費 はまどま運営費 <計>	45,000円 45,000円 90,000円	
収支見込額(a-b)	0円		
備考			
作成年月日	2020年8月19日	作成者名	三好豊

■NORA 第 21 期プロジェクト計画書(2020 年 7 月～2021 年 6 月)

プロジェクト名	もったいないから竹細工		
カテゴリー	ムラ		
リーダー	下山康博		
スタッフ(リーダーを除く)	講師:山口和美 アシスタント:小田切一郎、小林準治、只野和晴、三宅健也		
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・竹林整備で排出された竹材を有効活用する。 ・竹材から竹ひごを製作し、竹籠などの竹細工を作る。 ・竹材の価値を見出すことで、竹林整備への人員を誘う。 		
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ対策の徹底化を図る。 ・コロナ対策にともなう、参加費収入の減額対策を考える。 ・コロナ対策にともなう、リピーター離れの抑止策を検討する。 ・いちねん坊主工房の内容変更を検討する 		
内容	いちねん坊主工房:1 つ嗜好性の高い作品を、竹ひごの準備から一年かけて製作する。 竹かご教室:5 作品(全 7 回)にて一区切りをつけ、修了後は工房作業への参加を促す。 竹細工工房:竹ひご作りの練習や竹かご製作、カトラリー作り等 WS をおこなう。		
日時	毎月第 2 土曜日(いちねん坊主工房)10:00～12:00 (竹かご教室)13:00～17:00 毎月第 1 水曜・第 3 木曜・第 4 月・土曜日(工房作業)9:30～12:00/13:00～16:00		
場所	はまどま		
年間スケジュール			
一般募集の有無	有(定員 6～8 名)		
参加費の有無	1,000～2,500 円		
収入見込額(a)	参加費(竹かご教室)	144,000 円	@2,000 円×6 人×12 回
	参加費(竹細工工房)	576,000 円	@2,000 円×6 人×4/月×12
	<計>	720,000 円	
支出見込額(b)	はまどま運営費	72,000 円	
	事業経費	648,000 円	
	<計>	720,000 円	
収支見込額(a-b)	0 円		
備考			
作成年月日	2020 年 8 月 9 日	作成者名	下山康博

■NORA 第 21 期プロジェクト計画書(2020 年 7 月～2021 年 6 月)

プロジェクト名	里山の恵み・伝統文化に出会う上映会		
カテゴリー	ムラ		
リーダー	三好豊、中川美帆		
目的	日本列島で受け継がれてきた生活の技術、自然との関わり、祭祀などの記録映像を鑑賞し、話し合うことをとおして、現代の暮らし方を考える一助にする。		
目標	・毎回平均で 9 名の参加を実現する。		
内容	原則的には、民族文化映像研究所製作の作品を定期上映する。 夕食の提供は中止する。		
日時	隔月で第 4 月曜日に開催、19:00 上映開始		
場所	原則的に 2 か月に 1 回としたいが、コロナウィルス感染拡大の影響もあり、状況を見ながら開催日を決めていきたい。		
年間スケジュール	はまどま		
一般募集の有無	有		
参加費の有無	2,000 円		
収入見込額(a)	参加費	50,000 円	@2,000 円×25 人
	<計>	50,000 円	
支出見込額(b)	委託費	37,500 円	
	はまどま運営費	12,500 円	
	<計>	50,000 円	
収支見込額(a-b)	0 円		
備考	郷土映像ラボラトリーとの共催		
作成年月日	2020 年 8 月 19 日	作成者名	三好豊

■NORA 第 21 期プロジェクト計画書(2020 年 7 月～2021 年 6 月)

プロジェクト名	『食べもの通信』読者会		
カテゴリー	ムラ		
リーダー	三好豊		
スタッフ(リーダーを除く)	伊藤洋子		
目的	月刊情報誌『食べもの通信』の定期購読をすすめつつ、少しずつ信頼できる新しい情報にふれ、学び合う場をつくる。		
目標	コロナ自粛期間に試験的にリモート読者会を 2 回開いたが、「はまどま」での開催に合わせてリモート参加を呼び掛けたい。		
内容	月末に最新号が発行(郵送)されるので、定例開催日のテキストに適切と思われる。翌月の記事の予告を見て次の様子も考えられる。食事の提供は中止する。		
日時	毎月第 2 月曜日を定例開催日とするが、祝日等の場合は参加者で相談する。		
場所	はまどま		
年間スケジュール	順調ならば毎月開催(年間 12 回)。内容によっては、特別開催も企画したい。		
一般募集の有無	有		
参加費の有無	有		
収入見込額(a)	参加費	22,000 円	@500 円×12 人=6,000 円 16,000 円
	<計>	22,000 円	
支出見込額(b)	テキスト代	6,000 円	@500 円×12 回=6,000 円
	印刷費	2,400 円	
	謝金等	13,600 円	
	<計>	22,000 円	
収支見込額(a-b)	0 円		
備考	『たべもの通信』(家庭栄養研究会)を通してつながることができる団体。		
作成年月日	2020 年 8 月 19 日	作成者名	三好豊

■NORA 第 21 期プロジェクト計画書(2020 年 7 月～2021 年 6 月)

プロジェクト名	設立 20 周年記念シリーズ NORA サロン		
カテゴリー	ムラ		
リーダー	吉武美保子		
スタッフ(リーダーを除く)	NORA の理事など		
目的(箇条書きで記入)	設立 20 年を前に、現理事がこれまでに個々に取り組んできたことを話すことにより再確認し、新たな発見につなげる。		
目標(今期の具体的な目標を箇条書きで記入)	<ul style="list-style-type: none"> ・およそ 2 か月に 1 回開催する。 ・記録として残す。 		
内容	1 時間程度の話と、1 時間程度の懇談 今期、話題提供する理事は、島村、中川、中林、三好を予定。		
日時			
場所	はまどまなど		
年間スケジュール(単発のイベントの場合は実施日のスケジュール)			
一般募集の有無	有:定員 20 名		
参加費の有無	500 円(会員)、1,000 円(非会員)		
収入見込額(a)	参加費	60,000 円	(@500×5+@1,000×5)×4 回 会員 5 人、非会員 5 人
	<計>	60,000 円	
支出見込額(b)	謝礼(記録係)	30,000 円	@7,500×4 回
	茶菓	10,000 円	
	はまどま運営費	20,000 円	@500 円×10 人×4 回
	<計>	60,000 円	
収支見込額(a-b)	0 円		
備考(他団体との連携等を適当に記入)			
作成年月日	2020 年 8 月 21 日	作成者名	松村正治

プロジェクト名	はまどまで土間仕事		
カテゴリー	ムラ		
リーダー	勝野真美		
目的	目の前の食材を見ながら手で仕込むのが土間仕事の基本だが、リモート開催も視野に入れる。ZOOM 等で手元を見ていただき、ポイントを伝えつつ仕込む季節の手作り食品。買うのは「商品」ではなく、できるだけ「素材」にシフトし、それを吟味する知恵も身につける場に。時間と手間で作るものは、生きることに直結することを伝えたい。		
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・季節と暦に合わせた企画を作る。 ・無理なく、自分の生活の中で活かせるレベルのものを作る。 ・動画を撮影、アップを積極的に。 		
内容	神奈川産の素材を使って季節の保存食を作っていく。		
日時	季節ごとのタイミングで、2～3 か月に1度を予定。		
場所	はまどま		
年間スケジュール			
一般募集の有無	有		
参加費の有無	有		
収入見込額(a)	参加費 <計>	105,000 円 105,000 円	@3,500 円×5×6 回 (3,000～5,000 円)
支出見込額(b)	消耗品費 はまどま運営費 <計>	84,000 円 21,000 円 105,000 円	@500 円×7×6 回
収支見込額(a-b)	0 円		
備考			
作成年月日	2020 年 8 月 10 日	作成者名	勝野真美

プロジェクト名	季節の素材でスイーツメイキング		
カテゴリー	ムラ		
リーダー	山本美香		
スタッフ(リーダーを除く)	勝野真美		
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な野菜で簡単に作ることができるレシピを中心に、神奈川野菜を積極的に使う。 ・NORA 野菜市と連動させることで、野菜市のお客さんや、町内のご近所さんも「はまどま」をのぞいてもらい、引き込みつつ、NORA の活動にも興味を持ってもらう。 ・地域交流も視野に入れ、夏(自由研究)と冬(クリスマス)は親子での参加を促す。 		
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・年 4 回の開催を目指す。 (夏冬は平日の昼間、その他は可能な限り火曜日の NORA 野菜市に合わせる)		
内容	これまでのスイーツメイキングでは「みんなで作って、みんなで取り分けていただく」のが恒例だったが、コロナ禍で形を変えてゆく必要がありそうだ。1～2 品を参加者の前でデモで作成し、各自がそれぞれ盛りつけた皿でスイーツ・野菜・ご飯をいただくという形を基本にしていく予定。		
日時	2020 年 10 月、12 月、2021 年 3 月、5 月(予定)		
場所	はまどま		
年間スケジュール			
一般募集の有無	有		
参加費の有無	大人 2,000 円(中学生以上)、子ども 1,500 円(4歳以上)、4歳未満は無料		
収入見込額(a)	参加費 <計>	100,000 円 100,000 円	(@2,000 円×5+@1,500×10)×4 回
支出見込額(b)	消耗品費 はまどま運営費 <計>	70,000 円 30,000 円 100,000 円	@500 円×15×4 回
収支見込額(a-b)	0 円		
備考			
作成年月日	2020 年 8 月 10 日	作成者名	勝野真美

プロジェクト名	お香の手ならい～金曜夜のお香づくり体験		
カテゴリー	ムラ		
リーダー	粕谷恵(静流)		
スタッフ(リーダーを除く)	なし		
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・お香づくりの中で、個性のあるもの同士を合わせ、調和を目指すことを知っていただく。 ・全て天然の原材料のみを使い自然の植物のもつところ、からだに対する作用を感じてもらい、里山、自然、地球へ目を向けるきっかけを目指す。 		
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・SNSのほか、「はまどま掲示板」を近隣のカフェに置かせていただくなど広報に力を入れ、活動報告もWEBにアップする。 ・NORAの他活動との連携の中での企画づくり。 ・親子、子ども対象の企画。 		
内容	天然、自然の原料を使い、自分だけのオリジナルの香りのお香作品を作っていただく。		
日時	金曜日の18:30～20:30(他曜日に変更の可能性もあり)		
場所	はまどま		
年間スケジュール	毎月2回+α		
一般募集の有無	有		
参加費の有無	有		
収入見込額(a)	参加費 <計>	420,000円 420,000円	@3,500円×5×24回
支出見込額(b)	消耗品費 はまどま運営費 <計>	360,000円 60,000円 420,000円	@500円×5×24回
収支見込額(a-b)	0円		
備考			
作成年月日	2020年8月10日	作成者名	粕谷恵(勝野真美)

プロジェクト名	心も体も元気に季節の薬膳食事会		
カテゴリー	ムラ		
リーダー	内倉和子		
スタッフ(リーダーを除く)	三好豊、勝野真美		
目的	季節に応じた食材で、一般的に手に入る身近な食材をメインに、生薬(薬効のある自然物)も少々取り入れ、家でも作れる献立を作る。		
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・一緒に作って、食べて、美味しく楽しく養生する。 ・状況に応じて、調理はデモで作り、距離を取って見ていただき試食、もしくはオンラインでの配信を検討する。 		
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・薬膳料理教室のメニューを基に、神奈川県野菜と旬の素材を使って献立を作る。 ・料理から参加と食べるだけ参加のカテゴリーも設けて、参加しやすいようにする。 		
日時	隔月日曜日 10:00～14:00		
場所	はまどま		
年間スケジュール	2020年10月、12月、2021年2月、4月		
一般募集の有無	有		
参加費の有無	作る人、食べるだけの人共通：2,500円(会員2,000円) 未就学児対象のハーフサイズ：1,000円 ※前売り回数券5回分(有効期限1年)：10,000円		
収入見込額(a)	参加費 <計>	125,000円 125,000円	@2,500円×5×10回
支出見込額(b)	消耗品費 はまどま運営費 <計>	100,000円 25,000円 125,000円	@500円×5×10回
収支見込額(a-b)	0円		
備考			
作成年月日	2020年8月10日	作成者名	勝野真美

■NORA 第21期プロジェクト計画書(2020年7月～2021年6月)

プロジェクト名	旬の神奈川県野菜でトルコ料理を作ろう！		
カテゴリー	ムラ		
リーダー	勝野真美		
スタッフ(リーダーを除く)	大濱裕美、青柳由紀江		
目的	使う素材が日本と似ているのに、国が違うとここまでメニューが変わる。その面白さと美味しさを、トルコで料理教室を幅広く開催している大濱さんに、トルコの土地や野菜の事情等を聞きながら一緒に作る、食べる。		
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・旬の神奈川県野菜とトルコ料理のコラボ。 ・家に帰っても作れるレシピのファイルとフォロー。 		
内容	神奈川県野菜を使って、まだあまり深く知られていないトルコ料理を手軽に作れるように教えていただく。		
日時			
場所	はまどま		
年間スケジュール	大濱先生の帰国のタイミングで、年2回を予定。		
一般募集の有無	有		
参加費の有無	5,000円(作る人、食べるだけの共通)		
収入見込額(a)	参加費	100,000円	@5,000円×10×2回
	<計>	100,000円	
支出見込額(b)	消耗品費	90,000円	
	はまどま運営費	10,000円	@500円×10×2回
	<計>	100,000円	
収支見込額(a-b)	0円		
備考			
作成年月日	2020年8月10日	作成者名	勝野真美

■NORA 第21期プロジェクト計画書(2020年7月～2021年6月)

プロジェクト名	四季の宴～神奈川県野菜で至福のフレンチ		
カテゴリー	ムラ		
リーダー	勝野真美		
スタッフ(リーダーを除く)	國光博敏、北爪彩子		
目的	國光シェフの野菜への、料理への想いを一皿の上で味わい、聴く会とする。		
目標	・國光シェフとつながりのある生産者の畑での収穫とフレンチのコラボを再開したい。		
内容	國光シェフが四季の野菜や素材を使って作るフレンチをいただく。特に、「はまどま」でないと食べられない一押しメニューを考案する。		
日時	年4回を予定		
場所	はまどま		
年間スケジュール	國光シェフのタイミングで、年4回を予定。		
一般募集の有無	有		
参加費の有無	5,000円		
収入見込額(a)	参加費	200,000円	@5,000円×10×4回
	<計>	200,000円	
支出見込額(b)	消耗品費	180,000円	
	はまどま運営費	20,000円	@500円×10×4回
	<計>	200,000円	
収支見込額(a-b)	0円		
備考			
作成年月日	2020年8月10日	作成者名	勝野真美

第4号議案 第21期（2020年7月～2021年6月）予算

[収入]

科目	第19期決算額	第20期予算額	第20期決算額	第21期予算額	備考
会費	303,000	440,000	513,000	540,000	運営会員@12,000*15+一般会員@3,000*120
寄付金	1,499,369	1,250,000	1,472,874	100,000	個人寄付
助成金	1,250,000	600,000	1,430,000	810,000	緑の募金410千円、よこはま夢ファンド400千円
自主事業収入	2,945,600	2,900,000	2,036,950	2,000,000	竹細工7200千円、はまどま900千円（野菜市300千円）、各事業参加費等
販売収入	446,562	60,000	288,993	100,000	チェーンソー関連消耗品販売
受託事業収入	5,504,092	6,600,000	7,397,960	6,000,000	ビト-ブ 指導976千円、森ボラ体験3,091千円、GGift600千円 ※減額見込み
雑収入	345,692	150,000	144,083	150,000	環境教育出前講座120千円、講師謝金等
当期収入合計 (A)	12,294,315	12,000,000	13,283,860	9,700,000	

[支出]

	科目	第19期決算額	第20期予算額	第20期決算額	第21期予算額	備考
事業人件費	給料手当	0	0	0	0	研究員給料
	臨時雇賃金	0	0	0	0	
	福利厚生費	0	0	0	0	
	法定福利費	0	0	0	0	社会保険料、労災保険料
事業経費	事業委託費	4,079,200	4,800,000	4,964,878	4,000,000	受託事業、山仕事、デザイン料、外注費
	諸謝金	1,987,460	2,250,000	2,386,847	1,750,000	竹細工、講座講師謝礼
	印刷製本費	62,982	70,000	21,610	30,000	報告書印刷、コピー代
	会議費	5,575	10,000	10,861	10,000	会議室料、茶代等
	旅費交通費	104,920	100,000	20,498	100,000	講師旅費
	通信運搬費	8,290	50,000	42,166	40,000	郵送料、宅急便、備品送料
	消耗品費	1,985,401	800,000	2,303,000	700,000	山仕事道具、工具、はまどま事業経費
	器具備品費	736,258	0	0	140,000	
	修繕費	597,020	200,000	13,189	100,000	
	賃借料	154,562	200,000	30,646	30,000	レンタカー、チャーター、会場借上
	減価償却費	95,999	90,000	68,915	50,000	竹剥ぎ機
	保険料	120,834	120,000	83,457	100,000	グリーンボランティア保険、イベント保険
	諸会費	5,200	5,000	0	0	
	調査研究費	26,000	40,000	70,000	50,000	資料購入、研修会参加
	支払手数料	16,431	15,000	22,014	20,000	
	広告宣伝費	5,400	50,000	33,000	50,000	
販売仕入	347,681	50,000	256,982	80,000	チェーンソー関連消耗品仕入	
雑費	28,500	20,000	20,300	20,000		
管理費	印刷製本費	17,692	5,000	7,700	10,000	
	業務委託費	100,000	100,000	100,000	100,000	経理・決算・納税委託
	通信運搬費	144,367	100,000	152,587	120,000	電話・通信、ネット使用料
	消耗品費	31,034	30,000	134,978	30,000	会計ソフト等
	水道光熱費	144,270	150,000	104,232	120,000	
	地代家賃	972,000	972,000	987,975	990,000	家賃@82,500円*12
	諸会費	28,210	30,000	18,172	30,000	町内会費、ネットワーク団体会費
	租税公課	1,700	5,000	4,900	5,000	
支払手数料	30,669	33,000	33,818	35,000	ネットバンキング25千円、振込手数料	
経常外	雑費	0	5,000	20,100	15,500	
	固定資産除却損	0	0	0	0	
	法人税、住民税及び事業税	74,500	74,500	74,500	74,500	
	当期支出合計 (B)	11,912,155	10,374,500	11,987,325	8,800,000	
	当期収支差額 (A)-(B)	382,160	1,625,500	1,296,535	900,000	